京城日報
一月二十二日夕刊（朝夕併せて八頁）
（年中無休刊）（日曜日休刊 月曜日夕刊）　大正八年一月二十三日　（明治三十九年九月六日第三種郵便物認可）　第四千六十六號

定價 一箇月金五十五錢（郵税共）　廣告料 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 小川三之[illegible]
電話番號 [illegible]

◇急變とは全く意外

李太王殿下薨去の急報に接し 長谷川總督悵然として語る

李太王殿下薨去の急報に接し洵に驚き入りたる次第なり予は十三日東上に就き御暇乞ひに伺候したる時殿下に與の御居間にて謁し『もう悉皆御宜しいのですか……』とお訊ね申すと『否……全癒とは行かぬ今は却々苦しい……』と仰せあり尚殿下には『祀變かも知れぬが、如何も永い事はあるまい』と何んとなく氣懸りの御言葉なりしが急變とは全く意外なり餘り多く食物を召し上られぬ平生より察するに腦溢血は御遺傳には非ざるか殿下の御人と爲りは八方美人と申すよりも三十六方美人にて雖難巧みに臨機流るゝが如く又學者にして深く此の方にて御考へも深く御一生中傳ふべき佳話尠からず今上陛下の御盛徳を慕はせらるゝ事深く王世子殿下の御婚儀に就ても予が參內する毎に勉強するやうにと御傳言ありされば今回の御婚儀に就ても非常に喜ばせられ御秘藏のダイヤモンド眞珠等を世子殿下に贈り給ふ御心組にて毎日悦に入られ尚御兩方の御鮮服を御誂へあり御成婚御同列にて御歸り遊ばす日を如何に御待乗ねなりしぞや今にも記憶に見々も想察に餘りあり(東京特電)

▲快濶の御方として

立花中將談 李太王殿下には朝鮮在任中七年間毎年二三回謁見せるが何時謁見するも如何にも快濶にして社交的に渉らせられたること深き印象として、余の腦裡に殘り居れり日語は解せられざりしも優しき鮮語にて通譯を介し承はれり殊に昨年王世子殿下御歸鮮の際は太王、李王、王世子御揃ひの席に朝鮮貴族勅任官以上列席陪食の榮に接せるが其の時の御機嫌の麗しかりしこと非常なるものなりき平生御元氣なりしこと非常なるものなりき[illegible]を漢く有様なりし(東京特電)

第四十一帝國議會

貴族院（二十一日）

（前刊より續く）

▲仲小路廉氏 登壇食糧問題は極めて重要にして且つ複雜なり第一政府は一定の方針の下に調節する方針なりや又は自然に放任せんとする意思ありや戰亂以來我經濟上社會上種々の變調を來せる際食糧問題の不安を告ぐるは容易ならざる次第なり戰時の物價騰貴は已むを得ざれども之が爲め中流以下の生活の困難は言語に絶す前內閣は昨年米價の調節に基づき各種の應急施設を爲したりとて自己の處理時代の政策を述べ現內閣成立三箇月を經過せるに米價は依然騰貴し繼續す農相は暴利取締令、米穀收用令を撤廢せしが其他の施設を爲すも徹底的の效果無きは遺憾なり米價調節の根本的解決如何政府の責任ある答辯を望むと述ぶるやこれに對し

▲山本農相 は前農商務當局が一千萬圓の豫算を以て米價騰貴對應策を講じたるも現內閣は到底無限に之を維持するを得ず暴利取締令は其利器なるを認むるも容易に用ふ可きものに非ず究底に收むるを適當と信じたり決して廢止する意思に非ず前內閣時代の外米と支那米とは價格接近し來り中米の現物は昨年十月に比し二十二圓餘に低下せり要するに必要あらば何時にても使用す可し予の政策を自由放任と爲すは誤解なり政府は內地米の撤廢し外米買入を商人の自由に一任せり之れ西貢米、朝鮮、臺灣米も豐作の見込なるに依り商人の自由買入れに一任せる譯なり根本的の調節法は種々ある可きも米價騰貴は通貨の膨脹も重なる原因なりと答ふ

▲仲小路氏 更に政府が外米輸入に努力するは感謝す唯この米價根本問題に就き說明無きが非に他日に譲るを以て詳細の說明を求む可しと述べ次いで

▲服部一三氏 登壇、政府の米穀收穫豫想は不確實なり確ならしむる法規や消極的飲食店料理店等の食物制限の必要無きや外米輸入豫想額如何と問ふ

▲原首相 登壇、米穀政府は成る可く正確を期す可く政府は機宜の措置を執り糧食不足を生ずるが如き事無かる可しと答へ次に 山本農相 登壇、外米輸入額は今日不明なりと答ふ次に前者の註訂正する所あり日程に入らずして午後零時十五分散會したり(東京特電)

內田外相演說

（廿二日附より續く）

次に支政府は支那が所謂南北兩派乖離の狀久しきに亘りて解けず同國の康寧を害し列國の利益を損傷する事尠からざるを悲しび英、佛、米、伊諸國政府の贊同を得て客年十二月二日南北雙方に對し

▲友交的勸告 を爲したる顚末は當時政府の公表せるところの如し尚以上の如き內訌の現狀に鑑み對支借款は動もすれば內外の誤解を惹起し延て支那統一促進を阻碍するが如き事無きを保せず故に政府は右の如き虞ある借款其他財政上の援助を差控ふる事に決定せる次第なり尤も支那に於ける我國民の財政經濟上の企業にして隣接友交國間の特殊關係に基く當然且つ正當の成果たるものは政府に於て之を阻止するの措置を執る可きものならざる事言を俟たず而も其後南北漸く和平會議を開かんとするに至れるの機運あるは眞に祝す可く政府は支那各方面の政治家が區々たる

▲感情の軒輊 を棄て法律論の末節に拘泥する事無く一に四億の民衆全體の幸福を念として世界大勢の趨く所を察し之に順應せんが爲め速に國力の統一平和を確立し以て友邦の期待に背かざらん事を切望せざるを得ざるなり而して我對支方針に關し往々にして生ずる無稽の造說に顧み特に茲に明白にせざる可らざる一事あり即ち帝國は隣邦支那に對して毫も領土的野心無きは勿論有無共に支那の正當なる國利民福の發達を阻碍するが如き行動に出でんとするものに非ず帝國は從來屢次聲明せるが如く支那の獨立及び領土保全を絶對に尊重し商工業上の機會均等門戸開放主義を確守すると共に

▲日支兩國の 永遠且つ眞實なる諒解親善を爲す可き公正共益の方針を執り隣邦に對する我友誼を盡し支那が光輝ある發達を遂げ國民全般の幸福を增進する事に力を効さん事を期し居るものなり從つて又歐洲講和會議に際しても帝國は公正友交の精神を以て支那關係の問題を措置せんと欲するは最も深く顧念し居る所にして彼の膠州灣租借地の如きも大正四年五月廿五日山東省に關する日支條約關係交換公文の條項を遵行し該租借地を支那國に還附する事勿論なり將又日本は其經濟的生存上直接間接支那の豐富なる資源に俟たざる可らざるもの多く此點に就ては

▲支那朝鮮が 我國との隣接友交の關係を尊重し特別懇切なる援助を吝まざる事は余の確信する所なり之と同時に支那一般の康寧福祉の爲め必要なる財政經濟上の援助は勿論其他事件の大少如何を問はず苟も支那全般の利福に貢獻し得可き

▲支那國民の正當なる希望は帝國に於て率先之が達成に助力するに躊躇せざるべし 終に國際政局の大勢に關し余の所感を述べ諸君の考慮を求めんと欲す今や獨墺勢力の消滅と共に世界は一大革新の道程を進みつつあり此運行の根柢たる理想が正義に基く恒久の平和を確立せんとするにある事は敢て多言を要せざる所ならんも是は實に

▲帝國傳來の 國情に合致するものにして元來帝國は正義と平和の行動に依り國家の自由なる生存發達を遂げ世界の門戸が帝國の適法且つ正當なる活動に向ひて開放せられん事を求むるの外何等他意あるものに非ず公平に帝國の外交方針を支配する者は必ずや前述の根本要義が主として帝國の歷史を觀察すると可しと信ず國家の運命は永遠のものにして侵略主義又は擴張的政策は結局國家百年の長計に大害を胎すに止り國家の威信を永遠に發揚する所以に非ず政府は此確信を以て公正なる對外政策を遂行せんと努むるものなり

▲上院各委員長 貴族院にては廿一日請願委員長に細川護立侯、副委員長に小笠原長幹伯、決算委員長に大木遠吉伯、同副委員長に三宅秀氏を互選せり(東京特電)

▲貴族院本會議 貴族院本會議は廿四日午前十時より開會の事に決定せり(東京特電)

衆議院（二十一日）

（前刊より續く）

午後二時五分藏相の演說(別項)終るや大岡議長は通告順に依り(武富時敏氏病氣缺席)片岡直温氏を指名す

▲片岡直温氏(憲政) 登壇現內閣は國民の意思に副ふ政策を行ふ可しと期待せしに不徹底極まる政府の施政方針を聞くに至りて失望せり(一)講和會議に關して日本は一月十三日迄英、米、佛、伊の四國に於ける講和會議準備に關し何等交涉無きを得ず何等將來の國際關係如何(二)西伯利出兵は最初少數なりしに形勢險惡となるや政府は遂に多數出兵を爲せり之れ聯合[illegible]

▲原首相 は講和會議準備の質問に對しては政府は非公式に協商を遂けたり、西伯利秩序維持に就ては與國と共に囘復に努めんとす、勞働問題に就ては目下調査中に屬し言明の時機に非ずと答ふ次に

▲內田外相 登壇講和會議開始に就きては常に諸般の交涉を受け居れり休戰條約締結の際も無論非公式に交涉を受けたり其後十三日正式講和會議を開くこととなり五名の委員を特派するに決せる次第なりと說明す

▲高橋藏相 登壇(一)余は經濟界の安定を待ち將來の計畫を立つるなどと云はず研究の上計畫を立つべし(二)歲入見積は決して過大ならず委員會にて詳述すべし(三)租稅誅求の聲あれども政府は決して誅求せず(四)公債利用の事は各國に例あり珍らしきことに非ずと說明す次に

▲西村丹治郎氏(國民) 登壇(一)西伯利鐵道を共同管理に委するは我國の優越的地位を毀損するものに非ざるか實際の經營は米人管理の下に爲さるゝに於ては如何(二)食糧問題に就ては本年端境期には六七百萬石の米不足を來すべしと豫想さる政府は如何なる對策を有するや又況く物價調節に就ては自由放任主義なりや(三)財政計畫は[illegible]實行不可能に終ると思ふ本年の國際貸借に於て[illegible]剩餘金を如何に推算するや、藏相は本年の剩餘金を費ひ果せりと言明せる

▲山本農相 は政府の米價政策が自由放任主義の如く傳へられ其裏面に政府の意見を暗示するが如き語氣を漏らさるゝは遺憾なりとて昨秋以來の經過を述べ尚ほ外米の荷動きは二月より四月迄なれば政府は之に期待すとの意を述べ次いで

▲高橋藏相 は起ちて西村君の說は物價調節の爲め通貨を收縮せよとの議に承知す、昨年十月には兌換券十三億に上ると豫想されしも其後正金銀行の爲替方針に變更を施し財界に休戰を加へ居りしに休戰となり一月には八千萬圓に降れり之にて時勢が最も調節力に富むを知る今や物價は漸落の傾向あり通貨を收縮するは信用と資本とを活動せしむる方法を執る所以にして政府は人爲的に通貨を收縮する途を執る策に贊する能はず八年度國際貸借は余の豫想として貿易受入勘定は四億乃至五億其他戰爭中の海外投資一二億の收入もあり六年度剩餘金も費ひ果したるを以て七八年度の歲計豫算財源は七年度歲入超過額の剩餘金を當つるものに非ずと說き[illegible]

▲下岡忠治氏(憲政) 質問政府は現在の米價調節手段として暴利取締令を廢止し外米の輸入を以て國民に不安を與ふるものに非ずと認むるや現に就りつゝある手段にて將來米の不足を生ぜず[illegible]

▲內田外相 [illegible]

▲山本農相 は余は米[illegible]を聲明し更に存續するは變節改論と言はるゝも余は廢止を言明せず[illegible]と答ふ次いで

▲押川方義氏(無所屬) 登壇教育問題に就き質問し政府は敎育機關の增設のみに努め其の動力たる職員殊に小學教員の待遇を改善せざるかとの意を述ぶ右に對し

▲原首相 は國家の施設は一時に總てを盡す能はず急なるものを先にす之れに就きては追加豫算提出の際を望むと答へて

▲岩崎勳氏(政友) の動議により廿二日午後一時より質問續行に決し午後五時四十分散會した り(東京特電)

高橋藏相演說

歲出豫算中の重なるものに就き略述せんに國防充實に就きては陸軍は部隊の編成改正を計畫し海軍は之が充實に資し海軍は

▲水陸設備を 追加し造船能力其他の完成を期し敎育振興に關しては高等敎育の普及實業的專門家の養成を主眼とし產業獎勵に就ては主要食糧の增殖改良を圖り畜產林業の獎勵の增設改良を爲し電信電話通信機關に就ては道路改良費補助、電信電話の增設を爲し電話擴張は年度割を繰上げたり[illegible]國の豫備金とせり國債償還は豫定通り三千萬圓を計上す臨時事件豫備費は一億七千二百萬圓なるが大部分は官吏以下臨時手當及物價騰貴に基く費用其他の細目は此外各種[illegible]項に就ては休戰後

▲必要を認め たるもの[illegible]對する財源として戰時利得稅其他收入一億千二百萬圓を算(

◇濠洲同等權利主張

巴里來電＝濠洲首相ヒウス氏は語つて曰く濠洲は國際聯盟後各英國領土を一獨立國家とし我各聯邦は他の國家と同等の權利を有するものなることを承認せんことを主張すべし濠洲人は獨逸領諸島を含む太平洋諸島問題がアングロサクソン民族の利益を擁護し太平洋に於ける新附領土の發展に資するやう解決せざるべからざることを感じ居れり濠洲は來るべき二十五年間に五千萬の人口を有するに至る可きを豫想す恰も亞米利加國民が二十世紀の初期に發展せしと同じく濠洲の急速なる發展を遂げ世界大國民の一たるに至るべきを信ず(東京特電)

◇支那全權委員

北京電報＝支那講和會議の全權委員は陸徵祥、王正廷及び駐米公使顧維鈞、瑞西駐劄公使魏宸組の五氏に決定近く任命ある可し(北京特電)

◇徐總統の聲明

北京特電＝徐總統は紐育タイムス記者に對して左の如く聲明せり
(一)南北妥協成らんとし國內紛爭の危機去れり (二)國際聯盟援助 (三)支那の鐵道を國際管理に移すことに反對 (四)鐵道租借地回收 (五)外人既得權回收は考慮中

◎政務總監弔辭

二十二日午前六時李太王殿下薨去あらせられたるに付き山縣政務總監は同十時遠藤秘書官帶同[illegible]を

◎長谷川總督數日中に歸任

長谷川總督は王世子御婚儀の爲め東上中なるが李太王殿下薨去あらせられたるに就き近く歸任の筈なるが種々行懸れる用務もあり今日迄歸任期未定なるが數日中に東京出發の事となるべし

◇軍事費追加豫算

政府提出八年度臨時軍事費追加豫算として計上されたる歲入歲出額は各一億五千七百三十三萬九千八百三圓なりと(東京特電)

◇八年度追加豫算

政府提出八年度追加豫算は歲入一億四千九百六十四萬七千四百六十一圓歲出一億七千二百萬圓此不足額は八年度歲入超過額を以て支辨の豫定なりと(東京特電)

◎朝鮮統治狀況（九）

大正七年に於ける諸般施設

兵事

徵兵身體檢查は明治三十九年勅令第三百十八號に依り朝鮮に居住する壯丁に對し其の志願を採用して朝鮮に於て之を行はれたりしも檢查場に往復する旅費は總て各自の自辨とし而して受檢合格者は從來各自の本籍地に歸還して徵集に應ずるを制規とせり然るに大正七年一月陸軍省令第一號を以て

▲徵兵事務條例施行細則を改正し朝鮮に居住する者にして朝鮮に於て徵兵身體檢查を受け之に合格せる者の中朝鮮の常備團隊要員を徵募せらるべき師管內に本籍を有する者は(一)近衞に採徵せらるゝ者(二)志願兵を除くの外凡て朝鮮に在る常備團隊に入營すべきものとせられたるを以て[illegible]一大革新にして[illegible]大正七年中に於ける壯丁身體檢查の成績を抄出して其の概要を叙述すれば朝鮮に於て徵兵身體檢查を受けたる

▲總人員は千七百七十三人にして右に叙述せる成規に依り朝鮮に於ける常備團隊に入營し得べき人員の配屬區分を擧ぐれば左の如し

▲第十九師團の部隊に入營し得べき者

受檢者本籍地師管名	受檢人員	合格區分 甲種	第一乙
一師管	六二	二八	七
三師管	七一	三五	七
十四師管	三一	一三	五
十五師管	四〇	一四	四
小計	二〇四	九〇	二三

▲第二十師團の部隊に入營し得べき者

受檢者本籍地師管名	受檢人員	合格區分 甲種	第一乙
十師管	九一	四三	四
五師管	三八〇	一一五	三三
十二師管	一六〇	一〇四	三四
十一師管	一七一	八四	一五
小計	八〇二	三四六	八六

▲常備團隊に入營し得べきものゝ外

受檢者本籍師管名	受檢人員	合格區分 甲種	第一乙
四師管	七一	二八	八
總計	一〇七七	四六四	一一七
總計		五八一	

▲右に掲ぐる五百八十一人の內近衞兵に採徵せられたる人員と志願兵とは幾人ありしか今之を詳知る能はざれども其の大部分は朝鮮に在る常備團隊に配屬して入營せるものなり加之大正七年四月勅令第七十七號を以て大正七年に於ける徵兵身體檢查より壯丁の檢查場往復旅費は[illegible]給せらるゝこととなり尋で內務省令第六號を以て徵兵旅費規則を改正し[illegible]第六號の場合を除くの外總て[illegible]支給するものとせられたるにより關係者の悦は實に意料の外に在るの狀況を呈せり

[illegible]慶不足五千八百餘萬圓は普通會計歲入超過額を充て千四百餘萬圓は前年度剩餘金繰入れにより尚不足の二千二百萬圓は借入金にて補塡する計畫なり臨時軍事費に就ては歐洲戰爭終熄せる今西伯利は尚我軍隊、駐屯を要し又他部隊の復員艦隊の引揚に費用を要するを以て一億五千七百餘萬圓を計上し右の財源は主として公債借入金に依るものとす大正六年度剩餘金は總額四億四千九百萬圓を算せるが中七年度の財源其他使途に豫定あるものを除き殘額二億一千百萬圓あれども七年度に於て

▲西伯利出兵 其他にも八千九百萬圓を支出せるのみならず普通經費中國庫剩餘金を財源に當てたるもの千七百餘萬圓に支出したるもの四千六百餘萬圓を算し結局剩餘金も

剩すところ無く故に之を以て必要なる追加豫算財源に當つる時は八年度豫算の財源として繰入れを爲す餘地を有せず之れ臨時事件に關する經費の財源として公債借入金に俟つを要する所以なり

◎上半貿易

千五百萬二千三百二圓

一月上半期朝鮮貿易は輸移出七百八十九萬六千七百九十圓輸移入七百十萬五千五百十二圓合計千五百萬二千三百二圓にして之を前年同期に比すれば輸移出に於て四百十八萬五千四百六十六圓輸移入に於て三百十八萬五千四百六十六圓合計七百三十六萬九千六百七十八圓の增進にて[illegible]の進展なり而して輸移出超過額は七十九萬一千二百七十八圓にして前年同期は二十萬七千四百六十八圓の輸移入超過を示し居れり金貨及び金地金の輸移出は十九萬一千四百四十八圓にて前年同期に比し一萬九千四百六十三圓の增加にて銀貨及び銀地金の輸移出をなし輸移入金貨及び金地金は七千六百三圓銀貨及び銀地金は一萬四千三百三十三圓合計二萬一千九百三十六圓にして前年同期に比し金は一萬六百一圓銀は九萬四千八百六十二圓の孰れも減退なり

◎朝鮮葉煙草輸出

米國の解禁

米國スタンダード貿易會社煙草部の京城支店にては昨年來全鮮に於ける葉煙草の買收を行ひ同社工場にて續々精製作業を進めたるも一昨年來米國政府の葉煙草輸入禁止に遇ひ製品は全部倉庫に貯藏し時價百萬圓以上に達し居れるが最近米國政府の輸入禁止解除ありたるに付目下同社支店にては葉煙草米國仕向けの手配り中なり尚ほ鮮葉の良品は土耳古葉三等品に適する由にて今後其同社の買收は之れを締くるもの△如し

◎京城の金融界

一月上半末に於ける京城九銀行の帳況を聞くに預金は四千九百十四萬七十四圓貸出しは五千六百四十三萬圓にして內容左の如し

▲預金	
定期預金	九、八九三、二八五圓
當座預金	二一、一四四、八一七
特別當座	六、六九一、四〇九
別段預金	二、四一七、九二八
合計	四九、一四七、四三九

▲貸出	
貸付金	二九、六六二、八八三
當座貸越	四、三八三、九八二
割引手形	二、五八一、〇六〇
荷爲替手形	八〇三、一二七
合計	五六、四三二、二〇四

之を前年末に比すれば預金に於て二十萬圓を減じ貸出しも約三十萬圓を減ぜり

◎仁川期米昂騰

先限新高五十五錢の高値

仁川期米は依然正米高に強硬を失はず二十一日後場先限三十九圓六十五錢の新記錄を作れるが二十二日も引續き前場硬調にて寄附三十九圓六十錢高値六十五錢三十四五錢と打出したるも目先筋の米護等の內地注文殺到の模樣なれば軟化は望み難かるべきか

◎新機關車着期

滿鐵京城管理局が米國に註文せし新造機關車中第一回米國を發送せる十一臺の着期は既報の如く二月中旬の豫定なりしが右は本月廿八日頃[illegible]釜山には二月五日頃到着すべきに付管理局工場にては龍山工場へ八臺[illegible]

◎電興會社經過

朝鮮電氣興業會社發起人より平壤府を經て總督府に申請せし同社[illegible]

◎運賃亂調子

朝郵も引下ぐ

仁川群山並に釜山各港と內地阪神間の穀類運賃は社外船の續來により最近全く亂調子となり居れり一例を擧ぐれば仁川の如き二百二十五圓の運賃を公表し居れるに拘らず社外船中には百四十圓乃至五十圓の低率にて群山あたりにても百三四十圓の低賃あり又釜山は公表百五十圓なれど社外船は百廿圓位にて積み取る者多く全く區々に亘つて統一を缺き居れるがさりとて商船尼ケ崎等にては社外船と同率まで引下ぐる[illegible]

◎學務主任會議

來る二月二十四日より二十六日迄三日間總督府第二會議室に於て內務部長官統裁の下に學務主任會議を開會すべし

◎立神丸の船齡

朝鮮郵船會社にて日本郵船より譲り渡しを受けし立神丸(三千噸)の船齡は二十五年と稱するものあれど二十年なりと

◎米大使通過期

西伯利鐵道管理問題に就き同地へ赴くべき駐日米國大使モーリス氏は廿三日朝京城通過北行すべし

◎島川中將通過

陸軍中將島川文八郎氏は廿一日午後十一時半釜山上陸廿二日午前一時半發列車にて長春に向ふ(釜山)

人事消息

▲遞信局雇員採用 遞信局にては雇員若干名の缺員あり來る二十五日試驗施行する筈志望者は二十四日迄に履歷書を提出すべし

▲有田鶴藏氏(大倉組理事) 二十二日朝入城不知火へ

八面鋒

◆講和會議に於て、秘密外交は禁物也。既往に見ろに、維納會議も、伯林會議も、巴里會議も、盛んに秘密外交を慣用したり、而してメッテルニッヒも、タレーランも、ゴルチャコフ、ビーコンスフィールドの破れたるは、ビーコンスフィールドの秘密外交の勝利也。然れども其の會議の結果が、却つて禍を胎したるの感あり。今日の講和會議は、世界永遠の平和を確立せんとす、秘密外交は決然排斥せざるべからず。

◆十八日開會の講和豫備會議に、新聞通信記者をして、自由に出入せしめ、議事公表は、事情の許す限り、新聞通信を經由して、社會に發表すべしと決す、之れ或者に由つて行はれんとしたる、秘密主義の打破也、講和會議の爲に賀せざるべからず。

◆此の秘密主義の打破者は、日伊にして、英米は反對せり、然れども遂に多數に壓勢なるのみならず、各新聞通信記者の激烈なる抗議に遇ひ、英米も承諾せざるべからざるに至れり。

◆抑も今回の大戰が、終に聯合國の大捷に歸したるは、新聞紙の努力あるに與つて力ある事は明々白々の事實也。過去五年に亘れる大戰の間、人民を導き政府を援け能く戰爭を繼續せしめたる其功績は、最も偉大なりと云はざるべからず、之れ何人も異論無き處なるべし。

◆或る意味に於て、英米の政府を出して、戰爭に參加するに至らしめたるものは、實に新聞紙の力なりと云ふも、敢て過言には非ざる也、新聞紙は今や世界を通じて、[illegible]勢力と威力を有す、講和會議に於ける通信記者の自由入場は、其職責の任に當らんとするに於て、正に當然也、如何となれば世人は講和會議の利害得失を判斷し、又其の[illegible]に依て事の眞相を知らんことを期し居れるが故なれば也

大正七年七月一日改正現行
[illegible]

◎噫、李太王殿下

廿二日午前六時六十八歳にて終に薨去

愁雲深く德壽宮を鎖す

極めて平安なりし其御晩年

二十一日の黎明六時突如として傳へられたる李太王殿下御重患の飛報は深く内鮮人の心を痛ましめ、王世子、方子女王兩殿下の御慶事を目睫の間に控へ新春勞頭に於て竹の園生の彌榮ゆるを只管に禱り奉りし甲斐もなく二十二日午前六時遂に薨去の悲報は發せられたり。噫殿下、この度の御異變さへなくば德壽宮には瑞雲靉靆き、内鮮人民は太白を擧げて慶祝せしものを、事空しくなりて德壽宮裡愁雲深く鎖し大漢門外に悲愁の聲を聞く。悲しい哉

▽弔訪者殺到す

元近侍門前で號叫す　悲痛なる午前の光景

李太王殿下薨去の悲報發せらるゝや、悲愁の氣漲る裡にも俄に慌ただしき光景を現じ弔訪の客相踵いで來り大漢門には車馬の出入織るが如く十時山縣政務總監自動車を驅つて來り弔意を陳べて同二十分退出し松永京畿道長官、阪出土木局長、師等相踵いで來り門前から弔意を表して歸つて行く。やがて芳賀總督府醫院長、渡邊高等法院長其他の高官連が續々こ入れ代りに顔を見せる。大漢門前廣場には幾萬の群集が押し寄せ、弔訪客の出入を眺めて居る。中には五人十人ミ門前名刺受けの前に莚を敷いて跪き慟哭する元の近侍もあるなど見るからに心を痛ましめる。

▼各殿下御服喪

李王、王世子共に一年

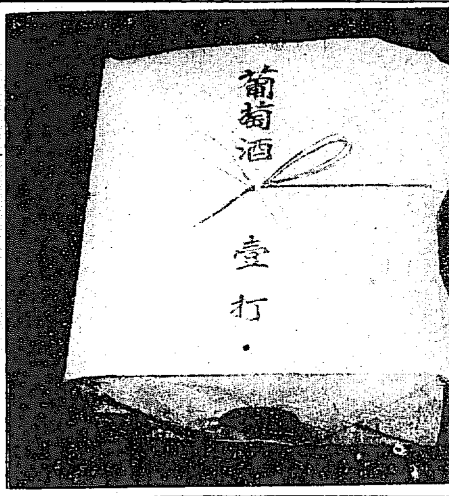
李王殿下、王世子垠殿下、李堈公殿下は父の御續を以て李王妃殿下、李堈公妃殿下は夫の父の御續を以て李鍝公殿下は祖父の御續を以て左の定式の喪に服せらる

李王殿下	喪期一年	第一期、第二期、各五十日、第三期殘日數
王世子垠殿下	同	同
李堈公殿下	同	同
李王妃殿下	同百五十日	第一期、第二期、各三十日、第三期九十日
李堈公妃殿下	同	同
李鍝公殿下	同	同

尚李王職員は皇室服喪令第十五條第四項に準じ規定の喪に服する事となれり

▲備考　皇室服喪令第十五條第四項　皇族親族の喪に丁る時は其附屬の宮内官喪を服す

聖上陛下御見舞品



▼御葬儀は二旬後か

御陵地は楊州郡金谷

李太王殿下には二十一日御發病御危篤に陷らせられ遂に二十二日午前六時薨去あらせられ喪を發せられたるが御葬儀等の事に關しては目下李王職高級職員東上し或は東上の途に在り協議の上ならでは決定す可からざるも李太王殿下は御生前既に自己の御陵を楊州郡金谷に御選定封陵して準備せられあれば從來朝鮮の舊慣上御陵選定に暇取るが如き事無ければ王世子殿下及び閔李王職長官國分次官並に長谷川總督赴任の上は速かに御葬儀の運びとなる可きが嚴妃薨去の際も三週日を要したる前例あり或は今回も三週日後執行はせらる可きかと某高官は觀測し居れり

李王職發表

李太王殿下には御重患の處今廿二日午前六時終に薨去あらせらる右につき李王職長官は直ちに總督府を經て宮内大臣に右申報の手續を了し又同刻『皐復の式』を行はせらるゝに付此旨御親戚朝鮮貴族に對し夫々通知せり

▼御傷心甚し

各殿下直ちに喪服に改めらる

李太王殿下御重患の凶報に接せられたる李王、李堈公兩殿下及び同兩妃殿下を始め御近親の御心配一方ならず二十一日夜は徹宵御看護遊ばされしが遂に太王殿下には二十二日午前六時薨去あらせられたれば御看護の各殿下及び御近親をはじめ近侍の人々痛心遣る方なき中に喪服に改め同六時卅分咸寧殿に於て皐復式を行はせられ今宵は濟宮中なり

▼御發病の經過

殿下には數日來御不眠症に罹らせられしが本朝午前一時四十分御假床御睡眠中突然御右側半身に

▽御痙攣を 起し御左側に及ぼし約三分間にして御緩解あらせられ直ちに拜察するに殿下には御右側の御位置にて御脈百十至を算し稍軟性を帶ばせらるゝも整然として毫も結滯なく御體温卅六度五分を示し御平温を越えず

▽御瞳孔は 左右共僅かに御縮小あり反應には更に御異狀あらせられず知覺系には何等御變調を認めざるも腱反射は消失し御舌は御乾燥の氣味にて時々渇を感ぜさせられ以上の御諸症に依り左御腦出血の御症と拜し專ら御加療申上げ然るに午前二時十五分に至り前同樣の御發作あり

▽約三分間 にして御緩解あらせられたり此の時迄は御發作ご雖も御意識明瞭に亘らせられ唯御言語の澁滯を認むるのみなりしが爾後六時六分迄大小の代性御痙攣十回を算するに及び御發作漸次激甚を加へ一般症狀御增進あらせらるゝご共に御意識全く

▽明瞭を缺ぎ 反射系は殆んご反應なし御呼吸は喘鳴を帶び御射響之に伴ひ御脈搏も軟弱不正御體温も亦上昇して卅七度八分を示し頗る御重態に陷らせらる（以下次號）

一月廿一日
李王職典醫　金演培
同　囑託醫　岡一亨
同　安商浩

畏し聖慮

菊花頸飾章御下賜

李太王殿下御危篤の趣天聽に達するや二十一日左の如く御沙汰ありたり（東京特電）

授菊花頸飾章　大勳位　李太王

▼御婚儀延期公表

王世子殿下の御結婚式は御延期相成りたる旨公表せられたり

▼李朝隨一の御英主

李太王殿下の事共

御薨去遊ばされたる李太王殿下は前韓國太皇帝陛下にましまして字は聖臨又は明夫、號は珠淵、初諱は李載晃ご稱し玉へり興宣獻懿大院王李昰應の第二王子にして開國四百七十三年甲子（元治元年）御歳十二年を以て哲宗の後を紹ぎ前李朝の

▽二十七代の王位に登らせ玉へり。王位繼承の當時殿下は尚幼沖に在せしより大院君攝政となりて萬機を統べ殿下登極後十一年卽ち開國四百八十三年甲戌明治七年陰一月八日に李坧王殿下の御生誕ご共に閔氏

▽王妃に上り玉へり。王妃の盛名ご大院君の勢望の二大勢力の爲め殿下には暫時不遇の秋を送られしが日淸戰爭後、王妃殉難、大院君の退隱ご共に政權全く李太王殿下に回歸し殿下には露國公使館より還宮せられ爾來内外の形勢に順應して權政を總攬し給ひ、嚮て

▽慶雲宮を 改建し、清凉里に王妃の陵を修營し玉へり。明治三十年に建陽を光武ご改元し文物制度の革新を圖り大いに國勢の伸張を圖らんご朝鮮半島俄然こして文明の域に進みたるは一に殿下の聰明に基き且つ父王

▽大院君の 保護ミ閔妃の進取的發展主義の賚なることミ勿論なり。殿下は國運の歸趨を明察し給ひ明治四十年七月十九日皇位を李坧皇太子殿下に讓らせ給ひ爾來德壽宮に退隱し玉へり是れ我が保護國となりし翌年の事なり。殿下退隱後の御消光は

▽極めて平安に 渡らせられ王族御一家は常に春風充ち、陽和殿角を繞り、殊に王世子の御慶事を目前に控へ、内鮮擧つて祝意を表しつゝある今回突如として殿下御薨去の悲報に接したるは寔に深憂に堪へず

▽眠るが如く御臨終

『然うか』ミ唯一言

眞先に參宮して御脈を執つた　戸川女醫談

李太王殿下御發病の際逸早く參殿して御臨終迄御手當を盡した女醫戸川錦子女史は暗然として涙を呑みつゝ語る『私は

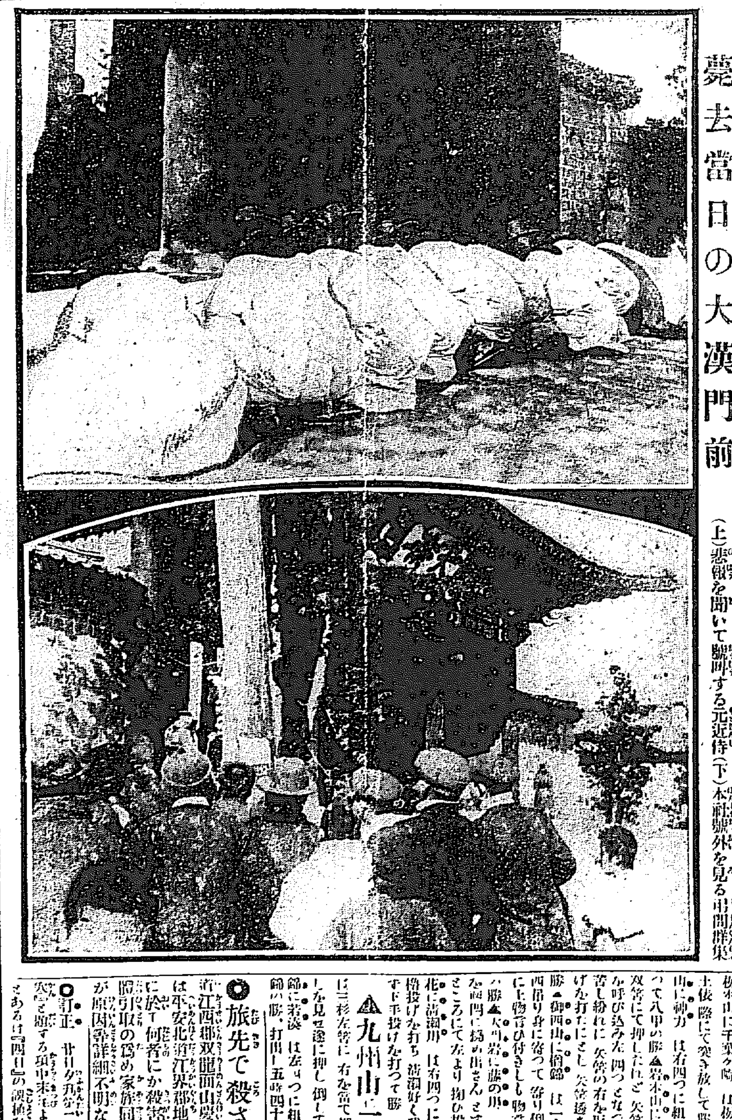
▽阿只姫の お附醫であつた關係上昨年秋神岡典醫が罹病後は私が代つて殿下の御脈を拜診する事になつて居たので毎夕六時から參宮の上殿下の御脈搏を拜診する一方毎週御尿の檢査もして居ましたが御發病前日迄は何等の御變化もなく體温も卅六度三分脈搏八十八でありました然し御發病の

▽四五日前 の事殿下は私に『少し食事が進まないそしてよく眠れない』ミ申されましたので大變心配して拜診しましたけれご格別御異狀は御座いません。また殿下は平常椅子に倚り掛る事がお好きで御發病の前も椅子に倚り掛つて居られましたが暫時してから第一回の發作があつたのでお附の典醫は驚いて私に

▽直樣參宮 せよミ知らせて來ました私は取るものも取りあへず參宮して拜診致しましたところ『戸川か寒いのに能く來て異れた。私は何うして斯麽に惡いのだらう』ミのお言葉がありましたそれから二回三回ミ七回迄痙攣が續きましたが殿下は非常な御元氣でした而し三回目からは脈搏が百十、四回目からは百三十乃至百四十の間を往來して體温が

▽卅七度七 に上りましたので段々御衰弱の度が增して來て八回目の痙攣からは全く御意識がなくなつたのです恰度其時分で李王殿下が御參宮になり『遲くなつて濟みませんでした』ミ仰せられると只だ輕く首肯かれたのみでした考へて見るミ七回目の痙攣の際私が靜にお眠みになる樣にミお勸めするミ殿下は『そうだの』ミ

▽只だ一言 仰被つた切りそれが最終の御言葉であつたミ思ひますそれから痙攣は十二回迄續いて御脈はしくも遂に薨去されたのです、夫が恰度午前六時頃でした』



薨去當日の大漢門前
（上）悲報を聞いて號泣する元近侍（下）本社號外を見る弔問群集

德壽宮
李太王殿下
大勳位

御名	熈
御誕生	嘉永五年九月八日
御踐祚	元治元年
御退位	明治四十年七月十九日
御在位	四十四年間
御年	六十八歲

▼王世子

李太王殿下御重患の趣に就き李王世子殿下には既報の如く急遽御歸鮮の事に決定高事務官、金武官同殿下を隨へられ二十二日午前八時三十分東京出發二十四日午前九時二十五分南大門驛御著の旨其の筋に電報ありたるが滯京中の國分次官も隨行の由

▼東宮殿下御見舞

政務總監より傳達

東宮殿下には李太王殿下御重患の趣聞し召され廿一日午後二時御篤なる御見舞の電報を寄せられたるに就き山縣政務總監は直ちに右の旨德壽宮に御看護中の李王殿下に傳達申し上たるに李王殿下には御使ひを派し御禮言上方御依頼相成りたり

▼梨本宮御懇電

李太王御重患の旨傳はるや梨本宮家よりは御病氣御見舞ミして御子一折御贈呈相成り且つ守正王、同妃兩殿下より御懇篤なる御電報ありたり

各宮家

兩宮御見舞

有栖川宮、伏見宮、閑院宮、竹田宮、東久邇宮、北白川宮、久邇宮、朝香宮、山階宮より兩宮に對し夫々御見舞の電報ありたり右に對し李王殿下よりの御親電又は長官を通じて御謝電御發送相成りたり

▼弔問者受付

太王殿下薨去に付宮門出入の資格ある者に對しては德弘殿玄關に署名簿を備へ又一般弔問者に對しては特に便宜を圖り大漢門に受付を置き御弔問を受けさせらる

◇世子御滯城一ヶ月

李王世子殿下の京城御滯在期は李太王殿下御葬儀の結了まで即ち約一月間なるべし

◇府の表弔

廿三日は半旗を揚げよ

李太王殿下薨去に付京城府にては二十二日府民一般に對し左の如く告示したり

一、府民一般は二十三日各戶に半旗（竿頭より下げて國旗をかゝぐ）を揭揚して弔意を表し奉ること
一、二十二日府尹は府民を代表して德壽宮に伺候し御弔詞を言上すること
一、二十二日府尹は府民を代表して昌德宮に伺候し御弔詞を言上すること
一、府尹は府民を代表して李王世子殿下に對し二十二日御弔電を發送申し上ぐること

◎王世子殿下御召船

高麗丸に決定

關釜聯絡船高麗丸は二十二日午後八時三十分釜山を出港二十三日午前下關著の筈なるが同船下關着の上は聯絡船繰替變更され高麗丸は李太王殿下薨去に就き急遽御歸鮮遊ばさるゝ李王世子殿下御召用として同殿下を御迎へ申上ぐべく直ちに下關港出帆二十三日夜釜山著のことに決定したり

◎壹岐丸延著

關釜連絡船壹岐丸は廿一日午後一時四十分入港すべき筈なりしが海上風波荒き爲め一時五十分釜著十一時半入港せしを以て其れが爲め釜山發午後十一時半の急行列車に延發し十二時半北行せり（釜山）

東京大相撲

九日目取口（朝刊續き）

▲友の浦に小牛山は 小牛、本差となりて寄り友が寄り返す處を右より下手投げを打つて小牛の勝▲逆鉾に東雲 は激しく押し合ひ引き落し合ひし末右四つとなるや逆吊り身に寄れば東雲上手投げを打つて殘し直ぐ寄り倒して勝▲大の里に白岩 は押し合ふ内大右より左を捻り落して勝▲綾川に太刀光 は太刀光双筈にて押して出るを綾受けて立ち右にて敵の首を卷き首投げを打ち太刀光殘して吊りに來る處を右外掛にて勝▲逆の矢に大戸平 は逆双筈にて鋭く押して出れば大戸危きところにて打遣って勝▲雨[illegible]に阿蘇ヶ嶽 阿蘇は左四つに組み御叩つて寄り切つて勝▲[illegible]は左四つに組み右足を使ひ一枚蹴を試みしも利かず一呼吸の後宇都左内掛に倒さんミ黑瀬必死となりて堪へたる▲宇都宮に黑瀬 ……下手投げを打ち直ぐ身を下げて勝▲駒泉に敷島 は駒無二無三に突き立てゝ突き出して勝▲[illegible]は[illegible]に組み[illegible]▲源氏山に大の里 は源氏一時預り[illegible]▲[illegible]は右四つに組み[illegible]▲宮城山に大鳴門 は右四つ[illegible]寄り切つて勝▲對馬洋に紅葉川 は紅葉の左[illegible]▲栃木山に千葉ヶ崎 は栃木双筈にて押し土俵際にて突き放して勝（中入）▲八甲山に神力 は右四つに組むや直ぐ寄り切つて八甲の勝▲岩木山に矢筈山 は岩木双筈にて押したれど矢筈堪へ四つとなつて岩木の左を呼び込みたる▲御西山に兩錦 は一合して右四つ御西吊り身に寄つて寄り倒し兩錦は御西に土物言ひ付きしも物言ひ立たず御西の勝▲大ノ川に藤の川 大門の二本差しを兩門に揚め出さんとすれば大門危きところにて左より掬ひ投げて勝▲常の花に清瀬川 は右四つに組むや常直ちに櫓投げを打ち清瀬好く殘せしも常透さず下手投げを打つて勝

▲九州山に三杉磯 は三杉左筈に右を當て押しては引き落しを見せ遂に押し倒して三杉の勝▲大錦に若湊 は左四つに組み吊り放して大錦の勝、打出し五時四十分（東京特電）

◎旅先で殺さる

平安南道江西郡双龍面山興里吳東有（三〇）は平安北道江界郡地方旅行中路上に於て何者にか殺害されたるが屍體引取の爲め家族同地に向ひたるが原因等詳細不明なりこ

◎訂正　廿日夕刊第一面『二度目の御歎』ミ題する項中末行より四行目『二月』ミあるは『四月』の誤植なり

◎相場に負けて鐵道自殺

而西里朴正一（二）ミ云ふ者であるが毎朝午前十時になるミ何時も缺かさず海岸町に出張する云はずこ貧にかゝつたが運の惡さに弱氣材料も何の覺悟なく相場は逆にズンく知つて行くもう宜から出來ないミ四苦八苦の末遂に世の中が嫌になつて一層選ぶべき路は死なんと彼は二十一日の夜月明り[illegible]左手一本を肩の邊から轢斷し右足の顔を碎いて苦悶する處を通り[illegible]の鐵人が發見して驚く[illegible]

[illegible]の降雪は甚だしく爲めに地方への交通杜絶し咸永自動車、西湖津間の輕便鐵道は不通となれり（咸興）

二等（四）一名岩本勇、茂谷長橋、千葉定吉、[illegible]安太郎、[illegible]岡田行二、福田淸太、石川貞二郎、佐治野作、古尾重三郎、原田寅之助、木村重雄[illegible]
三等（二百四十六名）

二十一日午後入港壹岐丸一二等客
一等（八名）島川文八郎、小林昭三、高橋由太郎、植村金次郎、上村一夫、岡玉伯[illegible]
二等[illegible]田池天、吉野信義、田口吉次郎、久木田精則、許林、上田利一、平井房太郎、田邊[illegible]、飛鳥井雅[illegible]、吉原慶太郎、[illegible]
三等（九十一名）

天氣　京城地方（自廿二日至廿三日）　曇り
▽京城測候所氣温（廿二日[illegible]）

滿潮　仁川（午前）九時三十三分（午後）九時四十三分　釜山（午前）[illegible]（午後）[illegible]

……仁川内里百八十七番地新昌旅館こ云ふに此程泊り込んだ一人の南班がある原籍は平安南道成川郡西部……手を出しては[illegible]勝つて居るのである處が相場は此の頃の細殺期節では必ず相場は安いに極つて居るこ見當を附けて……の勝調子に瞬く内に少からぬ損失を招いたので相の心は狂ひ出し、た既う此の上の無理算段は出來ず、さりこて此の途では穴の埋合せ……そして午後十時仁川發の終列車が折よく奔馳つて來るのを待ち受けて線路の中に飛び込んだが幸か不幸か、邪咒の祈りの的が外れて……仁川病院へ擔ぎ込んで治療を受けさせて居るが命には別條あるまいこ

◎咸興の大雪　十九日來……

……日午前入港の[illegible]丸一二等客……[illegible]

★雪の大觀＝西伯利の旅

月黒き曠野を走る夜の汽車と情景

……エニセイ驛で一旅人曰く……ペーアニカシヨ……

イルクツク から オムスク までの特別列車は夜から翌日の正午までかゝつた。其の間鐵道はエニセイ、オビ兩大河の上流に位する幾多の支流を横斷して走つた。窓外は唯だ之れ白樺と赤松と抑さ曠野と村落と雪の大觀であつた（從軍記者金谷生）

前日の夜半イルクツクを出發した自分達の列車は久しい間アンガラ河と同一方向に馳りつゞけて朝の九時にはザラリ驛に來て居る、天氣は

四温に入つたと

見ゆて頗る暖かい、這麼ことなら朝鮮や滿洲の方が遙に寒氣の上手だぞと、西伯利の冬を脊めてかゝる。お午頃ジマ驛に來た。オカ河の流れは白く氷結して鏡のやうな平面を旅人の橇が走つて行く煙突があるから注意して見ると製材所であつた、窓外は一面の雪、碧空ばかり遠い地平線には海洋の波濤のやうな丘陵の大蛇が續いて白樺の森や赤松の林が見ゐる、時々移民の家の丸太小屋も現はれる樹木にはまた露人がエリと稱する枝の垂れ下つたシベリア松もある

ツルン驛は午後三時通過

這麼天地に日本人

が生活し得るかどうか、北進か南進か……はこれまで多く論議された問題であつた、但北進の健康上に於る有理なる事は今更ペッテンゴーフエルの説を持ち出すまでもあるまい、温帶の人は寒地に於て三十年で同化し熱帶にては三代目でなくては同化しないとは多くの人の知るところである、新興日本

◇ノオニコライスク市◇

の青年にとつては雪の西伯利も亦[illegible]後の天地でなくてはならぬ……夜は月が出た、時々通過する淋しい驛に灯の下に麵麭や牛乳を賣る婦人が見ゐる、つれ〴〵なる儘に歌といふものを試る『月白し橇いそがす旅人の行手に紅き灯の見ゆるかな……』蓋し實況である、翌日の朝ザオジヨールナ驛を過ぐカンスクは知らぬ間に通過した窓外の風光は相も變らず白樺と赤松と雪と丘陵……人家の邊穢此は極めて乏しい、好い氣になつて

また歌詠みとなる

『西伯利の雪の曠野に白樺の林は遠く日に輝けり』また曰く『西伯利の丸太の小舍の暖爐に小さき聖母の像を仰ぎぬ雪地の客』『お寺の塔に輝けりあたりは淋しき村を有つならむ』モ一つ『成吉斯汗は汽車なき道を馬に騎りてウラルを越ゐぬ快男子なるかな』ルークウエンナヤ驛で村木や枕木を積み出すのを見た

◇クラスノヤルスク市◇ 正午頃汽車はクラスノヤルスク市に著いた、街の手前にエニセイ驛があつて廣いエニセイ河の大鐵橋を渡ればお寺の塔が澤山聳えた街となる、紅いお寺、白いお寺は總數十六、此處も矢張り露國式にお寺の街たるを失はぬ、驛に下りて見るとチエック兵と英國、伊太利兵が衞兵に立つてゐる、不圖

朝鮮人を見たから

職業を訊ねて見ると此の地に居る鮮人は概ね商人で總數百名、多くは咸鏡北道の鏡城吉州方面の生れだといふ、中には紙卷煙の製造に從事してゐる者もあるが昨今は儲けがなくて駄目だと溢す、それに商品は頗る拂底で自分は今からイルクツク市に仕入れに行くところだと語つた、別れる時『ペーアンニカーシヨ』（平安においでなさい!!）と一同が帽子を振つて呉れたのは嬉しかつた、驛にはまた多くの破損した列車が引入れてあつた、これは西伯利の官設鐵道工場の作業所に工夫は目下三千人以上居るといふ、しかし修繕を要する納車はトムスク鐵道で機關車四割、貨車五割、オムスク鐵道でも三割五分位とても少々の作業では追付かぬといふ、之れで見ても昨今西伯利鐵道の輸送困難が察せられる

硝子の製造所が

此の街にはまたあつたがそれも當今は休業の姿であるといふ、街を流るゝエニセイ河に北所より更に二百九十八露里下流三百二十露里にしてエニセイスクの街に行かれる、下流二千里を下つて北氷洋に入る河口には[illegible]港があり（汽船にて三日半）また英國から西伯利貿易の汽船が來たことがあるといふ、驛の構内待合室に耶蘇の像を揭げて御燈が灯つてゐるのは不斷に露西亞だと思はれた、夜の八時アーチンスク通過九時半ボカチール驛（寫眞參照）共翌日自分の汽車は昨夜の中にエニセイスク驛からトムスク驛に入りマリインスク驛も夜中に過ぎてゐた、朝はトムスク行きの分岐點タイガ驛、西伯利文化の中心地たるトムスクは此處から支線を八十露里の北にある、自分は不圖浦鹽で會つた

◇朝鮮人のトムスク大學生◇ を想ひ出した、街には學校が九十七校、工場が四百八十四人口十一萬と聞いたが今はそれより多からう、トミ河の鐵橋を過ぐる頃から激しくなつた汽車に打衝かつた雪がビユー〳〵と雪除け柵を吹きまくるのも壯觀であつた

◇ノオニコライスク市◇ 午後二時、オビ河畔のノオニコライスク驛に著いた、オビ河の鐵橋は鴨綠江よりも廣く橋下の氷上を行く橇は豆人寸馬の觀があつた、橋梁の左右に長い木柵があるから何の爲めかと訊いて見ると目下歐洲に戒嚴令が布かれてある爲め橋に人の近づくのをも禁じてあるとの答へであつた、河畔には製粉工場の大煙突がある

◇アルタイ山から流した◇ 材木がある、却々有望らしい市街であつた、街は一八九四年頃小さな一寒村に過ぎなかつたがその後水陸の便を占めて居る爲め急にメキ〳〵發展して今では人口廿萬を算する大都市となつた、此處からはトムスク縣の南部アルタイ地方からセミパラチンスクに到るアルタイ鐵道も通じ莫大なる穀物、鑛物が此の地に集まる、將來は何うしても

◇西伯利第一の大都會◇ となるべき運命を行つてゐる、オビ河の鐵橋を渡ればこれからは實に一望千里の大曠原、處々に居根の農家や牧場の風車が見ゆ、それにお寺の塔と白樺の村が見ゆる、……斯くて其日の正午漸くオムスクに著いた、停車場では[illegible]セミヨノフ軍兵が……お馴染の中佐大尉（またの名槍田大尉）がニコ〳〵してゐた（完）

大連より

◎滿鐵會社にては昨年以來の大堆貨と輸送力の狀況に鑑み大正八年度に於ては七割以上に約三倍する二十萬噸の發貨を計上して運輸機關の擴張發展に策應するの積極的方策を講じ内外經濟の機關車四十輛客車五十六輛貨車一千輛以上の增加を實行する事に決したりと

◎滿鐵工場に於ける貨車製造能力は一箇月約百五十輛にして之れに製造中の機關車は國輸出支の機關車及び貨車の逐次到着するものを加へ輸送状態は漸次緩和せらるゝに至るべく目下の堆貨五十餘萬噸なるも二月以降暖氣到來に伴ふ石炭輸送の減少と車輛輸送の終了等に俟ち沿線堆貨亦一掃せらるべく甚だ悠長なる事ながら止むを得ざる次第なり

◎現今の大堆貨は大正元年以來滿鐵會社が收入增加本位を以て消極的經營方策の下に諸般の設備に大節減を加へ社内人物の如きも自給主義を取りたる結果漸次消極退嬰今日に至り國家經濟の發展と逆行したる結果其の輸送計畫が根本的に破壞せられたるは當然の成行きにして之れ此の趨勢を逆睹し得ざりし罪に坐するが如し

◎滿鐵會社も亦從來の消極的方針を捨て積極的大輸送計畫の下に滿鐵創立當時の大抱負に立歸り大陸經營に猛進せんとす蓋し當然の事年ら又堆貨に堪へざる處なり

◎更に進んで奉天長春間を複線とし北滿地方の開發を促進し常に國家殖民の指導を以て任ずべく經濟界の發達に刺戟せられ後れ馳せに之れに追隨するが如きは植民地特種の大會社として取らざる處なり

◎大正七年度下半期及び大正八年度豫算に見るに少くとも本年四五月の交付は漸く輸送狀態の緩和調節を占るを得べく此際に於て極力輸送機關の完成充實に努力せば幾くは今後再び斯くの如き失態を繰り返し經濟的進展を阻害するが如き事無かるべし

◇奉天より◇

老兎生

弓張嶺鐵山と張督

[illegible]となるべし。

張督軍は嘗て省内各鑛山の經營許可を取消し全部を省有とすべく企て盛んに一旦附與した權利を撤き上げた事もあつたが日本側の出先に甚だ大いに反省して當來大いに態度を改めたが近來又々鑛業及び石炭礦を省有とすべき計畫の發表が案外凄じいものがあると評判されて居る其れも最近の實例として話題に上るのは彼の遼陽の奥地の弓張嶺の鐵山などもに是れを中央政府から無理に下附して貰つて經營に著手するさうである、それも昨年の督軍會議で北京中日本の某資本家が此の鑛山に著目して中央政府と日支合辦で經營に著手せんとしてゐると云ふのを聽き込んで督軍としては食指大に動いて遂に中央政府を突込ませて遂に無二無二奉天省をして頭を突込ませて物の見事に物にしたと云ふ事である元來此の弓張嶺鐵山は彼の大正四年の日支條約中に日本國民に支那國政府は試掘及び採掘を允許すると云ふ條項中に列擧してある諸鑛山の一に該當する鑛山で普通一般即ち他國に對する條約中にある鑛山とは大に其の趣を異にしてるのである、が彼の張督軍氏が嘗て鑛山は悉く國有にすると云ふ方針を立てた事があるがそれに對する各省行說を力說するのは或は出所は同一でありはせんかとも思はれるが兎に角中央政府を押し退けて該鑛を物にしたのは張督軍として大出來には相違ない、と同時に日本側は合辦事業とすると云ふ事ならば中央政府であらうが地方廳であらうが決して支障はない樣なもの、將來に於ける諸種の問題を推察したならば又其の地方廳の出所進退などに考へ及ぼしたならば此の種の事件に對しては十分の注意を拂ふの必要がありはせぬかと思ふ、最早や決定して仕舞つた事を數へ立て丶死兒の齢に指を折る樣な愚な事はせぬが、是れが將來及び他鑛山の將來に對しては十二分の注意を拂ふ價値のあるものと認めざるを得ないのである、殊に支那の如く中央權が比較的薄弱で地方權が尊重されてゐる國では尚ほの事である、彼の銅鑛山事件に類似した事の如きが再び演ぜられる樣な事でもあつたならば實際堪まつたものではない殊に一昨年だつたか鑛業條例各國共正式に承認しては居ないらしいが發布されて實力信用兼備はつた者でそして渺からぬ見せ金も必要であると同時に萬一の場合には其の見せ金は失敗されても致方のない今日であつて見れば誰でも不安に思はずには居られないではないか、それや是れやを考へたならば今少し世界に通用の出來る條例を制定させ安心して投資が出來經營が進められる樣にしたいものである、是れ即ち支那の利益でもあり投資者の利益である、土地の利用、地中の經營の促進は軈て其の國家の繁榮と發展を意味するのである

釜山から（八）

默殺！否、否、否

キの字は更に氣焔を續けた。抑もだね君、之れは既に新聞にも記載された事件で、責任者から事實無根の取消しを出て居るから、事實は無いのだらう、當局が責任を以て無いと云ふから、無論無からうと吾輩は思ふが、此處が問題だよ、事實相違と、事實無根は近い樣だが大分距離がある、其の或一事實が無根であるから、全部が無根であることは云へまい、大體から云へば相違である、まあさう云ふ理屈は抜にして、一體心得違ひな話だ、吾輩は誰が好い、悪いとはいはぬ、實際考へて見給へ、年末に百圓這入るものが七十圓這入つては非常な番狂はせになる、人間が食はずに働けるかい、殊に獨身者ではあるまいし、女房子もある、外の月なら知らず、一年の總勘定日た年末だ、小供に新しい帽子の一つも買つてやりたいは親心だ、女房に一枚の羽織でも買つてやりたいは人情だ、だから年末賞與に不平の起つたのも尤も千萬である、[illegible]員だとて不平は起る、不平が起らなかつたと云ふのはウソだ、若し吾輩であつたら大いに起す、不平の起つた證據には何故長官が議を開いて、來年から慶尚南道の教員の年末賞與を一定して貰れと申し込んだ、事が穩かであつたら這う云ふ申し込みなどのある筈がない、愚な話だ、物には表面と裏面とある、表面から見た許りで斷定は出來ぬ。キの字一醉と共に大分氣焔も物凄くなりかけた、無言でチビリ〳〵とやつて居たアの字がフト頭を揚げて。キの字、君はさう云ふ事を餘りしやべるな、お互の間なら兎に角、其う云ふ事が一般に知れると、父兄の感情を害する。と反對に出た、議論好きのキの字が、何うして聞き捨てに仕よう。父兄の感情を害する、馬鹿云へ、よしんば父兄の感情を害したつて、事實相違と云ふ事は何うするかアの字も却々取つて居ない。事實があつても其處は其まゝに任せて置けばよい、餘り詮議だてをすると瑕の付くものが多い。まあ默殺するサ。キの字の論鋒は頗る鋭くなつて來た。何、默殺、駄目だ臭いものに蓋をしたつて、臭みが取れると思ふか、斯る事は宜しく誤解のない樣に天下に發表すると同時に、責任者は天下に謝すべきである、元來此の問題が君は一朝一夕に起つたものと思ふか、年末の不平許りだと思ふか、歐洲大戰だつて、サラエヴオ事件のみが問題となつて、彼の大戰亂を勃發させたのではない、つまり彼の事件が動機となつて、多年こんがらかつた問題が、一と時になつて火の手を上たのだ、吾輩の見る處では年末不平は一の動機である、此問題の裏面にはまだ〳〵他の問題が潜んで居ると思ふ、斯の樣な問題を默殺する事は出來ぬ。待てキの字、君は大分熟して來て居るが、吾輩が默殺せよと云ふのは、第一父兄に對して不可、而して此地の面目にも關する、其う君の樣に敵愾的では面白くない。アの字は聊か持て餘した樣な姿である。君は未だ事實を知るまい、最う少し吾輩をして議論せしめよだ、とキの字は漸々たる盃をグイと飲み干した。拙者は聞いてゐて頗る興味を感じたが兩人が喧嘩しては馬鹿らしい、其處で兩君待ち給へ、議論はよいが喧嘩を始めてはいけないぞ、と拙者が鳥渡行司の役目と云ふ格で口を挾むと、兩人とも、無論喧嘩らしい喧嘩などはせぬ、まあ君は其處で聞いて居給へと、キの字はまだ大に論ぜんとしてゐる。

◎趣味ある數字

◇國語を解する朝鮮人◇ 内地人を娶らせる朝鮮人 内地人を妻とせる朝鮮人

◎國語の 何日ぞや朝鮮人の國語を解するもの、數を當局が調べたまゝ報道したことがあつたが今又京畿道警察部の調による大正七年十二月末現在の狀況を聞くと總數で八千八百二十人と云ふ數に達してゐる、之を更に分類すると稍や解し得るものとしては男四千七百四人、女一千七百二十九人計六千四百三十三人、普通會話に差支なきものとしては男一千九百八十五人、女四百二人計二千三百八十七人である、兎に角國語を解し得ると云ふ鮮人が現在の京畿在住全鮮人の三萬九千三百八十八人に比較すると約二割二分四厘に該當する、要するに鮮人の國語を解するものが多くなればなる丈是又國家として一と悦ばしい現象であると云はねばならぬ

◎結婚 大正七年中に於ける京畿内鮮人間の結婚を京畿警察部の調べたのによつて見ると内地人にして朝鮮人を妻として娶りしものが三人、内地人婦人にして朝鮮人に嫁したのが五人計八人と云ふことに成つてゐる、これを職業によつて區別すると前者は郵便配達夫に一名、材木商に一名、土木業者に一名で後者は辯護士に一名、自轉車商に一名、飲食店に一名、代書業者に一名、人力車夫に一名と云ふことである、要するにこの風潮も年々增加しつゝある傾向を示してゐるらしいが一面國家と云ふ點から考へれば誠に結構なことで鮮人同化の一策としては大に奬勵すべきことであらうと思ふ（平壤）

◎地歷學會組織

[illegible]部大連中學校長司會者となり在連有志家發企となり[illegible]を設け廿九日午後一時より發會式を大連西公園町滿鐵教育研究所内に開く筈にて猶當日は岩間德也氏の朝鮮半島に於ける倭寇の遺跡[illegible]之助氏の八世紀に於ける旅順唐碑、稻田中秀作氏のリヒトホーフエンの支那調查、八木奘三郎氏（題未定）中野竹四郎氏吉會線豫定線地方旅行談有高巖氏の古代滿人の生活風俗等の講演ある筈にて猶同會は滿洲歷史地理研究の志望ある人の入會を歡迎するとの事也（大連）

◎船員の試驗

◇來二月十日仁川にて◇ 遞信局仁川海事出張所に於ては來る二月十日定期船舶職員試驗を執行すべく試驗種類は甲板部甲種[illegible]機關部機關長以下全部願書提出期限は本月末日迄と也（仁川）

◎吹も吹たり

船橋里の地價

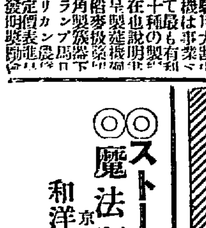
坪四五圓の土地は 一昨年七八十錢で買へた

工業の勃興を見越せる膨脹

昨春來平壤に於ける事業界の膨脹に伴ない逐日地價の昂騰を告けつゝあるが本年に入り一層其度を昂め殊に彼のモンド瓦斯設立市請發表さるゝや思惑筋の入込み又は人の昇上に依つて見越筋の鼻息荒く殊に船橋里の如きは該工場の建設地と云ひ朝鮮製糖、富士製鐵等其の他大小工場會社の設立地に明當せるを以て昨今地價無暗に奔騰し先づ同里中の一等地たる驛附近一帶の地は坪三圓乃至五圓見當にして若し思惑筋の買口ある場合は見越筋に於ては突飛なる高値を唱へ相談纏らざること往々ある樣なり、而して現時四五圓見當の土地は一昨年に於て七八十錢、昨年春に於て一圓六十七錢のものなるも尚ほ向後人道橋の位置發表、モンド瓦斯の建設地決定、製糖等の工事著手等を見たる曉には同里の地價は從々高値を叫ぶに至るべし（平壤）

三寒四温（地方版より）

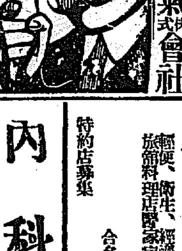
何しろ此の正月は何處も景氣が好かつたが就中け米の群山と謳はるゝ群山港の景氣は非常なものであつた▲之を一番見易き花柳界の方面に於て觀るに元旦より三箇日の藝妓の花代は京城よりも高い一時間一圓六十錢といふ朝鮮一の相場（京城は一圓二十錢）であるに拘らず何れも算切れの大繁昌であつた▲更に遊廓方面はといふに正月三箇日は一枚が八圓、二枚の紋の途が曲りなりにもついてゐる娼妓は十圓でソレも九時頃には三箇日とも何處の樓でも滿員とは大したものであつた



大正式製[illegible]機　賃搗用大割[illegible]　本機は事業として最も有利　二十種の製品自在也説明書進呈　[illegible]製莚機　轉陷麥扱器　二角製莚器　向ランプ馬口　バリカン農[illegible]具定價表進呈　東京本所長崎町三日本發明獎勵會

一番ヨクキク　かぜねつ藥
蛇印　アンチピリン丸
▲特長 ◇最新高貴藥の配伍 ◇絶對に副作用なし ◇胃中に溶解し易し
▲主效 感冒、ネツ、インフルエンザ、頭痛、歯痛、リウマチス、オコリ
▲藥價 十錢、十五錢、廿五錢、五十錢
本舗 大阪東京 丹平商會　賣捌は全國各藥店

登錄商標　本椿香油
毛を黒く長くつやを出し　赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙
本舗　大阪西横堀　三宅堂

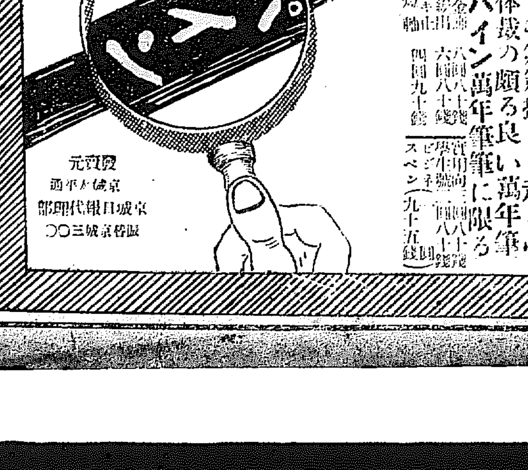


強胃消化錠
アナタの胃病には　マーゲン
八木田博士處方　島田博士御鑑定
本劑の特色　マーゲンは獨式胃病藥と異り其效力は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃弱を治し著しく胃を強壯にす
大阪市東區上本町五丁目　田畑保榮房

株券紛失公告
一、清州電氣株式會社株券第六拾號壹株券壹枚但拾貳圓五拾錢拂込濟
右記名の處紛失ノ旨ヲ以テ再交付ノ請求アリタルニ依リ新株券ヲ交付スル異議アルモノハ本日ヨリ拾日以内ニ當社ニ申出ラルベシ
右定款第十二條ニ依リ公告候也
大正八年一月貳拾壹日
清州電氣株式會社

京城府告示第二號
李太王殿下一月二十二日薨去セラレ候ニ付テハ明二十三日ヨリ府民一般ハ半旗ヲ揭揚シ弔意ヲ奉表セラルヘシ
大正八年一月二十二日
朝鮮總督府府尹　金谷充

◎ストーブ各種及附屬品
◎魔法瓶并中瓶取替
京城府本町三丁目
和洋金物商　佐藤半次郎商店
電話四三番　振替口座京城二二〇番



金ペンの氣持よく走る心地と體裁の頗る良い萬年筆はパイン萬年筆に限る
[illegible]
發賣元　京城日報代理部

内外科　小兒科　花柳病
高井醫院
京城本町二丁目（郵便局前）電話二一六番
診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄
院長　正六位勳四等功五級　高井貞治
副院長　千葉醫學士　松崎正彦

＝大新ト鐘新＝
[illegible]
申込期間大正八年二月三日迄　加入金一口五拾圓
日本信託證券部
株式[大新 鐘新]買同氣會
會則内容説明書贈呈
大阪市北區堂島濱通一丁目二三

内科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七、二九〇九番

電燈に電熱を使用すれば冷水も直ちに熱湯となります
定價金四圓二十錢　荷造送料三十五錢
輕便、衞生、經濟、安全、體裁優美、耐久
旅館料理店醫家病院理髮店其他一般御家庭より注文山の如し
特約店募集
合名會社　千倉屋商店電氣工業所
名古屋市東區橦木町二番地　長電話五〇五九番

イケダ小兒内科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目電話（醫院一三三四番　自宅二〇〇〇番）

氣象豫報
[illegible]

商況

東京株式特電

廿一日後場 引値 この比較

	引値	比較
東株新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東京瓦斯新	[illegible]	[illegible]
富士紡	[illegible]	[illegible]
寶田石油	[illegible]	[illegible]
横濱護謨	[illegible]	[illegible]
新日本製糖	[illegible]	[illegible]
北海炭礦	[illegible]	[illegible]
帝國蠶絲	[illegible]	[illegible]
第一新	[illegible]	[illegible]
第二新	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]

東京現物中値

二十一日中値

東株	一九八、〇〇〇
同新	一七四、〇〇〇
朝鮮銀行	一六〇、〇〇〇
同新	[illegible]
南滿鐵道	一五二、五〇〇
第一新株	一一四、五〇〇
第二新株	一七六、〇〇〇
南滿製糖	二四〇、〇〇〇
帝國製糖	[illegible]
滿洲製粉	[illegible]
京城電氣	五七、〇〇〇
同新	一八、〇〇〇
朝鮮瓦斯	二四、〇〇〇
同新	一五、〇〇〇
郵船	一一〇、〇〇〇
同新	一九一、〇〇〇
鐘紡	九二、〇〇〇
同新	[illegible]
東京瓦斯	一五四、〇〇〇
寶田石油	一三三、五〇〇

東京期米特電

二十一日後場 寄付	三十八圓五十六錢
高値	三十八圓二十六錢
安値	三十七圓五十四錢
止め	[illegible]
二十二日前場 寄付	三十八圓三十五錢

大阪株式特電

二十一日後場 引値

宇治川水	[illegible]	止め
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
郵船株	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]
同新株	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十二日前場 一月限	三六〇、〇〇
二月限	[illegible]
三月限	[illegible]
四月限	[illegible]
五月限	[illegible]
六月限	三一〇、一〇

大阪期米特電

二十一日後場 寄付	三十八圓四十錢
高値	三十八圓五十二錢
安値	三十八圓四十錢
止め	三十八圓四十一錢
二十二日前場	三十八圓四十九錢

兵庫期米特電

二十一日後場 寄付	三十八圓八十五錢
高値	三十八圓八十五錢
安値	三十八圓六十六錢
止め	三十八圓六十六錢

雜報

●綿糸布低落

見返したる米棉 前日は一二三圓 [illegible]

六十錢安

又復惡化の報にて人氣又復惡化し當限三百六十四圓九十錢先限十圓七十錢と昨後場止めより先限約七十錢方の暴落を示し綿布も三錢先物 [illegible] 眼先想相の前狀なるが如し

十一圓八十錢 三錢先物

●正米依然强硬

中旬らず消線地方さへ殷及び極迄關係筋にて商談なき有様なり新規契約も仕手筋に乏しく川又探算相合はざる爲めに商談も行はれず ... 尚ほ來る商品は相場の强硬を示し自然物價不引合ひの形なれば正米賣物増加せず此處當分持手放しの向き相當ありさ觀れど高唱へにて値段の折合ひ困難を告げ居れば精米筋は當分買人の强腰に居して納入見合せの有樣なれば相場は徐々に買進める有様なり

十五圓迄取引行

「上向き一方に普通物三」昨年後には普通物三十五圓迄取引行はれ止め付に三四十錢方の上値ならざれば値段は不可能ならん

運賃の低落 移出口に買進

一頃の買注文入込みたれば近來然強硬なり殊に内地よりの問合ひも頻繁なるを以て低落せし運賃は移出口の買進みを促しつゝありと地方正米の眼先見込みは如何

●白米値上げ

白米は前値と同じく市中値は強調を示し越年したる料は初市以來漸次引締まり最近に至り一段の吊騰を見るに至れり

引上げ五十錢方

卸値は昨二十一日より五十錢方

引上げ四十一圓

なしたるも精米所の手元に尚堅調不引合ひなる爲め更に一段の値上げを行はん模様なり

小賣値 一錢方

卸値の均衡上現在より一錢方

引上げ四十一錢

米小賣値を引上げ多少なりとも二十三日より實行する事に定まるべし

●内地小麥保合

麥は産地買腰堅硬にして依然買物薄の模様なるも地方に依りては先に懸念より弗々買進みつゝある向ある模様にて市況は既に内地小麥の當月買ひも大部分の取引を了へたるが相場は弗々小浮動を見ず外國品輸入も相當多く買方も産地に於て原料は大部分輸入品を以てする見込みなれば過剰となるべきに付差込み筋は早晩相場も漸く氣崩れ見るべしと觀測せられつゝあり

●支那粟持合

粟は品薄漸騰狀勢に於て產地に正米を受けて一段人氣引締めつゝあるが過日來上りに進み後さて頃は上値よりの反動に出で此處

持合ひを示しつゝあり 强氣

●漆器昂進步調

新穀なりて各地方面の注文は新正月を目先に控へ日を追ふて增大せる爲め產地筋の强氣は市場に移りて氣配漸次引締り相場は尚ほ高步調を辿り居れり

可分需要に迫はれて製品間に合はざる狀況にて

先行當分軟化の望み無し

ても地方註文一時下火さなりては漆器相場の高値も崩れるならん

●分蜜糖は閑散

分蜜糖は保税先物の內地市況は氣配不引立にて商談は立たず漸く飛び保合にて商談見送りの模樣なり

▲ザラ糖は益々好況にて賣相場は強気漸く出廻り
依コロガシ十六圓八十錢にて物品二番物は低値にて黑一番物の需要も出で候しつ ...

下關相場

▲朝鮮米も堅調共 後玄米百五 [illegible]

開業廣告

穀物貿易精米業

弘部精米所

新義州驛前

電話 一番 振替京城一四一二番

各地商況

◎群山米況 二十日

群山正米は昨十九日一時行詰りしが今朝の氣配保合商狀にありし爲め相場は前日に比し殆んど變化なし ... 米受渡期日の迫るに從つて買氣は頻りに增加し人氣の先高觀なる氣構へにて高値を唱へ居れり

▲元山小豆 廿三圓七十錢
▲朝鮮玄豆 廿一圓五十錢
▲同大豆 廿四圓二十錢
▲厚川產大豆 廿一圓三十錢
▲新項大豆 廿一圓五十錢
▲朝鮮白米 四十三圓
▲鎭川潜艇大豆 廿二圓五十錢
▲同二月渡 四十三圓
▲朝鮮明太 [illegible]
▲同豆粕 [illegible]
▲同豆粕一品 [illegible]

▲肥料の現況 魚肥は鯡粕百六十本約八十本 ...

▲大豆は頭硬共 殷州に買進む ... 十二圓六十錢迄にて段々商內行はれたり

生魚市場

京城日丸市場 入荷少なし

仁川期米

二十二日前場

(反動安盛返)

第一節 各地入電未着なる爲め人氣閑散 ...

先三十五圓

◎大邱米況 二十一日

▲正米弱含 昨日引けに比し約一錢方安にて ...

京城正米市場

相當地相場の賣物現はれつゝあるも倒されず ...

仁川正米

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目

六十錢九錢高に寄付き東京安移

賣物現れ

逆に下押し

五十三錢盛返

市場雜觀

移十五錢

釜山群山安

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話 長 [illegible] 番

仁川米豆取引所 廿二日の三月限

	寄付	高値	安値	引け
前場 第一節	三十五圓四十錢	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

賣買取組高

一月限	一萬三千	二百石
二月限	九千	[illegible]
三月限	[illegible]	七百石

二十一日後場 前日との比較

▲内地米況

正米の保合時價は三十九圓に一錢から採算すれば常用限の三十九圓臺は到底時價の市場にて ... 外國米の輸入は益々困難なるべく ...

廣澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七番

賣方の心膽 途轉買越を行く

寒さから

無理相場買 積荷不足

東京安に乘じて

軟派二十五錢

迄賣崩し

毛谷村六助 卅六番角力

百二十一席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

穴澤盛秀は拔く手も見せず彼の化猫を望んで斬付けるこ、キャッキャと一聲揚げると其儘其處へ撞と仆れた、是を見て左右に居りました小猫が歯を剝き出し爪を尖らして飛びかゝるを左右にバッタ〳〵と斬つて落し、或は蹴殺しました、此の物音に驚いて臺所の方に寢て居りました香山が飛んで參り「若しく〳〵お武家、何うなすつた、斷つて置くのに何か見なすつたか」盛信御坊、是々で確に手應へがしたが其邊を御覽下さい」香山は此處に居つた、偉いことをしなすつた、其の化猫の一件で此寺に住持さいふ者が居付かない、俺は番僧に此寺へ雇はれて居つたのだが、然しアヽ大した腕前だ、大膽な者なら一つ悔みに悔んでしまつて、一つ睨まれ、ばそれつきりだ、まア宜い按排だ、此の寺も元の通り修繕も出來るを、まア悠然と休息をさつしやい、村の者に話をして聞かせませう」と是から翌朝になつて香山が村の者に知らせ、是々だと話たから、村內の百姓共も大きに喜び厚く穴澤に禮を述べました、猫の死骸は埋めて塚を立てゝ懇ろに葬りました、然し穴澤盛秀は暇を告げ長宗我部の伯父の許を指して出立をいたしました、處が伯父の志摩は不在でござります、故、四五日厄介になつて長宗我村の伯父の許を出立いたし、それより盛秀は諸方を巡り四國へ戾りましたが、時に大正十三年四月羽柴秀吉公が四國征伐をいたすに就いては十二萬の大軍を率いて四國へ渡りました、長宗我部元親は土佐の高知の本城へ籠り、上方の大軍を引受けて戰ひ開きました、是は四國軍記に詳しく出て居ります故大略いたして申上ますが、秀吉公も高知の城へ取詰め旗下勢を以て責立ました、穴澤盛秀は武者修行のことなれば戰さ見物に來て終日戰ひの態を見て居りました、スルと高知の城内より中內源兵衛親政といふ者が千五百人を率ゐて秀吉公の本陣へ押し懸りました、其の勢ひは洪水の堤を切つて押し出す如く、不意を討たれて上方勢は散々に敗走する、源兵衛親政の先手を勤める侍大將前部源八が槍を執つて秀吉公へ突いてかゝる、アハヤ危きと見る時に、穴澤盛秀は飛鳥の如く飛び來つて遂に源八を一刀に斬つて秀吉公の危きを救ふ、實にその働きは人間業でございません、是が爲めに源兵衛親政は敵はずして城內へ引揚けてしまふ、秀吉公は穴澤の勇を感じて此を召出しました、戰ひ終つて秀吉公は大阪へ引揚げる、穴澤盛秀穴澤流の薙刀を申立て三千石を給はり龍谷寺殿盛秀となりました、故郷より妻女を呼び寄せ大阪の城內に勤仕いたして居りましたが、此秀吉公の御供をして肥前名古屋の城內へ來て國々の上覽相撲を召して毛谷村の六助も士俵の上で力を爭ひましたが、時に六助の爲めに押し切られて遂に盛秀も不覺を取つて退りました、それ飾へ出るのは德川家康公の家臣村越三十郎でござい ますが、家康公は大阪城留守役を命ぜられて此處には居りませぬ名代として本田豐後守康孝が三百人を率ゐて御供いたし、康孝は御前へ伺候して相撲を見物をして居りました、時に村越三十郎は是亦相撲を見て居たが、素より相撲好きこ見えて肉は動き血は躍る、何分堪忍が出來なくなつた故康孝に申入れて相撲を取らせて頂きたいと申すと恐ちお聞き済になつて村越三十郎素裸になつて土俵へ現はれた此の村越三千郎のお談をいたしますが、此の人が自慢に用ゐた左七の字の指物があります、それは何なものでございます、何故に村越が此の指物を用ゐたかといふに

大邱署擊劍始

大邱署に於ては慶北警務部、大邱憲兵隊本部大邱憲兵分隊より劍士を招待し去る十八日午後一時より撃劍始會を催したり

尖形劍 肯定

此の人幼少にして父母に別れ、伯父に育てられ十三歳の時に初陣、それより以來戰場往來して請書字をする暇が無かつた、然し戰に臨んでは敵味方をして驚かせる働きを度々いたしました。

書畫用 絖畫絹 京染呉服商 たまや出張店 京城明治町二 電話一九六

◎褒賞授與 [illegible]

大邱道場に於て本年の撃劍始會を催したり

○訃報(大邱)大邱東亞貿分十號長淺野欽吾氏は豫て病氣靜養中の處遂に醫院に入り病氣靜養中の處薬石効なく去る十九日午前九時死去したり

十一月廿三日

曆 (木曜)十一月廿二日 十月の三日

▲三碧▲用心深くして暮すべき日
▲四綠▲親しく慎つかしき日
▲五黃▲婚禮、移轉、旅行其他一切よき日
▲六白▲思ひつけば行ふ日なり
▲七赤▲短氣を慎まれ好き日なり
▲八白▲自業自得を慎むべき日
▲九紫▲目下の者の事にて氣苦勞あり
▲一白▲起り易き日なるも舊事は吉
▲二黑▲願ひたり叶つたりの上手
▲三碧▲目下より立らるゝ日に
美しく賑やかな日なれど散財注意

演藝案內

壽館
本町二丁目 電話一〇五〇 三升家一芳一座 入場料十八錢均一

有樂館
活動寫眞常設館 滑稽『瞬間勇士』全貳巻 人情劇『愛の支配』全三巻 探偵『御艇の根據地』全五巻 第四『幽靈船』七、八篇

大正館
黃金町 電話八七二三 空中魔 大雄篇 若年の猿飛佐助 三巻

文樂座
本町五丁目 電話三三八 浪花節 中村福高一行 兄と弟 飛行娘

浪花館
京城明治町 電話二六〇 落語・手踊・音曲・奇術 ▲落語▲手品▲音曲▲落語 ▲人形▲西洋奇術▲手品▲音曲

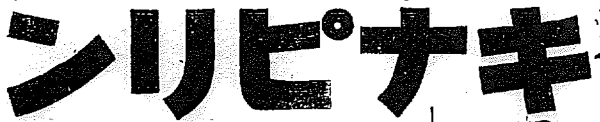
黃金館
(夜間)二六六二 石川五右衛門 三巻 チャプリンの大奇術 新ハムレット 森の閃光

壽座
京城本町 電話五七八 大阪歌舞伎 中村玉六 嵐信藏一座 再會源氏 大藏卿 義士外傳 七段目 忠臣我對面

◎月やく
月やくとまり月經不順の婦人病に ... 病狀何によらず婦人病一般に月經の方は私方へ手紙にて御問合せ下さい 逆上頭痛吐氣 ... 東京市四谷區 ... 本舗 大阪北區曾根崎上三丁目四番地 月經專門藥 研究發行所 森田屋

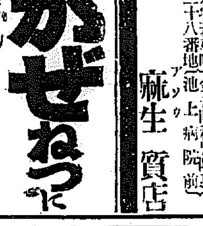
ぢの薬
清痔丸 清痔劑
內用 外用
倂用すれば面白い程能効あり
本舗 名古屋 荒川長太郎
全國各藥店にあり

質 新規開業
倉庫完全
京城若草町三十八番地(金井眼科病院前)
麻生質店

かぜねつに 一番よくきく
キナピリン

◎感冒 ◎熱病 ◎頭痛 ◎インフルエンザ ◎リウマチス ◎間歇熱(マラリヤ)等に大効あり
(價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓)
本舗 大阪市堂島元船橋 高橋盛大堂藥局
◎到る處の藥店に販賣す

中風 病全快 御禮
私は數年前中風に罹り醫藥不治の病症と斷念し居りし兵庫縣明石町衛生館の新藥の效能に信じて全治せり 諸氏を得たに就き ...

眼病ならば
眼科藥と言へば先第一に大學目藥と言ふ事になつて居る、夫れは言ふまでもない藥効の優れて居るからである大學目藥は醫學、藥學の大家の不斷の研究に成り臨床上にも充分の自信を得たもので、其製造技能は最善を盡してある、然れば赤道直下の酷熱地にも、北極近き寒地にても巧妙に治療上の偉效を顯はして居る而して此大學目藥は如何はしい沈澱物などの無い事を見定め易いやうに透明たる瓶に入れて一葉のレッテルさへも態と貼つてない、之を見ても調劑の上に技術の優れて居る事が分るのである
其上藥瓶に添へてある點眼器も冷熱に弱いゴムの如きものは使用はず、冷熱、乾濕、藥液にも侵されぬ特許の彈附點眼器で、又包裝の如きも特許權を得たもので決して他人の模造を許さない事になつて居る斯して大學目藥は種々の特許を得て居るから藥劑に至つても注意の行屆いて居る事は申すまでもない、最も其製劑高の巨額なる事も全國に於て拔群である、然れば外國へ輸出する高も比類なき多額で一度外國へ足を踏入れた諸君は其異數の發展に驚いて居られる程の事である


大學目藥

效能 はやり目、トラホーム、かすみ目、ただれ目、血目、其他炎性諸症
大阪北濱 合資會社 參天堂藥房 電話本局一二〇四 一二〇五

京城日報

大正八年一月二十三日（木曜日） 第三種郵便物認可

本紙定價 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之助

李太王殿下薨去

二十一日の朝李王職より發表せられたる德壽宮李太王殿下御不例の報は、痛く國民の耳目を驚かしたるが、越えて二十二日午前六時を以て遂に薨去の訃を傳ふるに至れり、哀悼の至りに堪へず。殿下は事實上、李朝最終の君主にして、其の御一身は眞に李朝の興亡を閲したまへり。甲子の歲（元治元年）十二歲の幼齡を以て先王哲宗の後を嗣ぎ、李朝二十七世の王位に登りたまひしが、實權は攝政大院君の手に在り。大院君豪邁の資を以て、庶政を統攝すること十餘年、威權赫灼、人之を望みて畏れざるはなかりき。殿下年漸く長じ、其の妃閔氏亦女性に罕に觀る所の縱橫の機略を具へ、內助の功洵に大なるものあり、遂に攝政の退隱と爲り、內外の政治悉く宮中に收めたるが、當時外交の關係漸く多艱に赴き、支那の抑壓を受くる甚だ大に、之がために日清戰役の後、支那の勢力は半島を捲つて空しく、殿下は光武元年十月を以て皇帝即位の號を擧げられ、國號を大韓と改め、數百年來の宗主國たる支那の羈絆を脫したるも、前門虎を拒ぎて後門狼を容れ、露國の跋扈漸次に甚だしく、朝鮮半國を擧げて、其の勢力範圍に入れんとするの提議が、公々然と唱へられたり。是れ實に日露大戰の動機と爲れるものなりき。此の大戰中に於いて殿下は朝鮮の將來は、日本帝國の擁護に頼らざるべからざるを覺り、日韓議定の約を結び、攻守同盟の約を結び、又大戰終了後に至り、內治外交一に帝國の指導保護を受くること、なり所謂日韓新協約の締結を見るが、此の如き過渡期に際し、邦の小人、動もすれば君主の聰明を蔽ふものあるは、歷史上往々ある所の事例に洩れず、所謂海牙密使事件なるものに依り、平地に波瀾を捲起したり。殿下の宏猷遠謀なる、愛に國勢の趨ふ所を察し、位を太子に讓り、德壽宮に入りて老後を養ひたまへり。併合の後、特に皇族の待遇を受け、爾來風騷諷詠の裡に平和の御生活を送りたまひしは、人皆仰ぎ知れる所なるが、忽ちにして今日の凶報を傳へ、殿下享壽六十八年間、極めて迂餘曲折に富める御經歷の最後の頁を閉さるに至れり。愛に謹みて以上を概敘し、痛悼の微忱を表す。

臺米禁出善後 相當緩和されん

△臺灣總督府 は米價調節の爲め米穀を島外に移出せんとするものに對し、許可を要することとして移出制限令を布告せることは既報の如くなるが、商務省に於ては未だ之が通報を接受せざるも右に就て當局の語る處に依れば同島米作は二期作にして全收穫は五百萬石以上に達すべく、昨年度第二期は約五萬石の收穫を見二百五十萬石は當に達せる筈にて例年內地への移出は八十萬石を數へ、本年度は內地米價

△昂騰に際し 既に約九十萬石の移出を見るべき模樣なりしが移出につきては現下米調節の急要を要する場合農商務省よりも如き際に之を禁止すべき樣通達したる程にて內地米價の昂騰に際し米商等の買付殺到の結果島內に於ても自然米價の昂騰を來し他面之によりて內地よりの逆輸入を爲す等の現象を呈し之等の原因は恐らく今回其輸出に相當制限を加ふるの已むを得ざるに到らしめしならんも、併し內地米價の趨勢に對しては同島當局も之れを諒解せざる筈なく、もなければ許可には相當緩和あるべく本省として其途の打合せは勿論怠りなかるべしと云へり（東京）

上海雜感（二）

現在及將來の邦人の覺悟 市川オフセット印刷會社取締役 廣江澤次郎氏談

▲日本勢力の伸長 上海在留の米國人六千人英國人九千人に對し邦人の二萬人に達せんとしつゝあるは隆々たる長の謂なさして擇ぶべく、あるが支那人の僻相性に不謹愼と不遜の外人の猖か原因結果をなし排日熱も多まりつゝ有る有樣に思はるゝは誠に遺憾に堪へぬ併し英國の對支勢力發展の跡を探ねんに英人こそ今日の牢乎たる勢力を扶植する迄には一方ならざる迫害を嘗つて來たのであるから僅な排日的片影を捉へ口を尖らし肩を怒らして惡罵を逞しうし却つて双方の感情を疎隔する如きは不謹愼ま ねばならぬ事と思ふ、日本人も昔日の如く『何かボロイ事はおまへんか？』式の考へでなく高尚にて着實なる標的の下に努力し將來の成果を樂むを信條とせねばならぬ十分の滯在中上海取引所の重役宋漢三氏が『日支合辦の上海取引所重役たるは賣國の所業なり日本の走狗なり』といふ不穩な文句を並べた脅迫狀が舞込み怖れを爲して辭任されたのは誠に遺憾であつたが此の種の事は當分繰返されるかも知れぬ自分共は豫め其の覺悟をして不屈不撓支那雄飛に努めねばならぬ

▲支那大人の惡習に汗顏 私は偶支那當代隨一の大事業家と上海にて膝を交へて懇談の機會を得たが大人曰く『ドウも日本の商人は徒らに懸け引きが多く誠意に乏しいのは最も商賣道の拙劣なる者で、私共が常に不愉快を感ずる處である同じ値段ならば私共は懸け引き等の煩累なく手續簡に取引の出來る米國品を用ひたい、私共は此頃に米國へ行つて見たが日本では遠慮に遠慮を重ね殆ど手の附けられぬ類も米國では上等の刷紙と一ポンド十一仙に過ぎぬ、神戸で廿八錢と採算せよ先づである。私は不取敢八百噸程購入したが日本では三十二錢から三十七八錢を唱へ而かも『ザラ』云ふ具合ひにも或る腕の日本人は算盤を幾十度も彈き出す私共の顏色と態度を見ては盛んに隔を弄するが私共は其不誠實の取引振りには實に呆れざるを得ない、らに米人は幾萬圓の取引も數分間にて濟ますは日本及び日本人を能く諒解して居る積りであるがドウか其の取引方法の改善と商業道德の向上とを圖つて貰ひたい然らずんば如何に相互の政治家が日支親善を熱心唱道さるゝも畢竟口頭禪に終らむのみ』と私は思はず冷汗背を霑うし得式日本商人の陋習を痛嘆せざるを得なかつた。

▲上海の將來と四大勢力 支那實業界の覇權は山西人と浙江人と廣東人とす而して穩實にして剛毅なる漢口人等有力なる寧波人や勤儉力行の山東人等有力なる日英米の三大勢力と斷乎競爭をして居る、就中寧波人は廣東人の如く團結力が最も強く富裕なる資財の運用亦巧みなれば上海商權の一半を握り更に長江沿岸に羽翼を張り居れり漢口の如きも廣東人より優勢なるは注目に値す、畢竟上海は外來の日英米の三大勢力と此の支那側の大勢力とが互に卍巴となつて火花を散らすのであるが此の火花が支那開港の大原動力であり三億四千萬の生民覺醒の導線となるのである、さうして多幸なる上海は無限に伸張し將來共支那の總中心點たるに疑ひないと思ふ。（完）

財界の新舊人（十一）

西海生

朝鮮銀行總裁 美濃部俊吉君（二）

朝鮮銀行は創立以來三總裁を取り交へた、乃ち初代は故市原盛宏君で、鮮銀の前身たる第一銀行の朝鮮總支配人より入つて總裁となつてゐる、二代目は市原氏の死後、大藏次官を辭して閑地にあつた勝田主計君を迎へ、勝田君が寺內內閣の成立と共に再び中央政府の要路に立つや、お鉢は美濃部君に廻つて來たのである。

▲此の三君の人物性行を比較すれば、各々その特色があり、素より容易に優劣を附すべきでない、然し少くも大銀行の總裁としては美濃部君が最も適せりとの評語を多く聞く、今後も亦現總裁の如き人物を迎ゆる事は容易でなからうと云ふ者もある、市原君は稀なる才物で、人を見て法を說くの術に至つては殆んど天才と云ふべく、圓滿無碍外部より見れば完全な人に近かつたが、然しながらその金融上に於ける獨創的見識が、果してその諸種の演說に現はるゝ程高くして傑れてゐたかと云ふ事は、若干の疑問を持たせる人もあつた、結局市原君はその缺點を自得してゐたらしくこれを補ふため周圍の意見の採擇を常に怠らなかつた、茲に君の傑出せる點がある。

▲勝田君は又市原君と反對で、各種の問題に對し、獨創的意見の有り餘る程豐富な人である、君は殆んどその周圍を顧みず、己の見る所に從つて銀行の施設進止を縱橫に行つた、君の總裁は前後一年に過ぎざる極めて短期なりしに拘らず、時勢に先立つて鮮銀の擴張策を樹立し、飽く迄進攻的態度を以て、長からざる在任期間に多くの仕事をして行つた、無論世界の大戰爭が民間銀行たる鮮銀の活躍を促したとは云へ、驚くべき速度を以て鮮銀の手足を外に向つて伸べしめ、又伸ぶべき方策を各方面に樹て、殆んど革命的の變化を鮮銀に與へたのである。

▲三代目の美濃部總裁は單く言へば前兩者の長所をつき混ぜたやうな所がある、乃ち勝田君程豐富な獨創的意見は有しないにしても、之れを市原君に比すれば、對外的にも對內的にも頗る進攻的であり常に止まるその知識慾は傾聽に値する見解を各種の問題に向つて有してゐる、君は勝田君程、外部との交渉を遮斷し社交的に閉居せんとする學究的態度をとらないけれど、さりとて市原君の如く圓轉滑脫の交際術は、解してゐないやうである、此點に於ても三代目の總裁は一二代總裁の中間を行つてゐる。

▲酒脫清高、聊か俗界を脫せるやの觀あるは正に美濃部君を見たるの第一印象である、その光れる白髮こそ聊か老の色は見ゆれども秀麗を失はぬ面容は、能に類ひ少い氣品を現はしてゐる、總裁として素より日常の行務に何等の干渉をやらないに拘らず、その折に觸れて仄見ゆる豐富な大小行務の知識は行員の舌を捲しく驚いてゐる所である、君は恐らく鮮銀總裁として理想に近い人であらう、外に向つても伸び、又內部の基礎をも固めて行く點に於て、所謂世俗の大事な三代目の總裁として適り役と云へやう

五色饅頭

劍花坊

相撲を狂歌に詠んだものを、ちよつと探して見たが、有名な蜀山人の四方赤良でも

秋の野のまはし相撲の草所せきわき小結びの露

など云ふ至極の腰折れを詠んである。有名の谷風梶之助へ同じく赤良が贈つた狂歌は

かたやぐら巖石落し逆落し闘は日本一の谷風

上の句はどうやら力がはいつてゐるが、下の句に至つてスッカリ腰が碎けてゐる、越後生れの荒海といふ力士に蘭菜が與へた狂歌

思ふ圖へきたは越後の荒海に波のうちはをてうさあげ汐

のうちはをてうさあげ汐言葉も巧なけれど、すこしも相撲の氣分が出てゐない、なほ狂歌の選歌の部に『詠相撲戀』といふのがある。

まゝならば相撲とこそ身をなして君のよこねにつき觸ひてん

戀ふれども人目の關の強ければあはぬ相撲の獨りねぞうき

きたない歌だ。

これがほんとの遊戯文字である。

賦得朝雪 岡西鯉山

初日曈々雪舞天。瓊田纏柳五雲連。坤輿息戰春如海。人倚欄干頌有年。

歲朝書懷自題 柚木玉村

歲朝洗筆頌堯年。佳氣東來千里濃。初日欲昇山未霽。春天擊出紅芙蓉。

戊午除夕 佐藤北濱

醜虜紅塵硯作田。自嘲貧病有因緣。雪飾庭竹風聲亂。人操藥爐形影憐。新調祭來供架飾。故交化去騎龍仙。到頭霜鬢難消得。又是明朝老一年。

己未元日

雲漢出海曙光催。萬里春風旗影開。劍佩朝天衣馬盛。文章報國鼓千推。聯邦正祝妖氛散。獨帶行看瑞氣來。寫譜新詞浮柏葉。醉歌齊頌太平來。

米國政府の資金を以て露國人救濟……同部は從來……を目的とするにして且露國人の事業に干興する

齒科醫院開業廣告

私儀今般滿鐵京城管理局鐵道醫及龍山鐵道病院齒科部長ヲ辭シ左記ニ開業汎ク齒科診療ニ從事致候

齒科醫士 利根川清治郎

京城本町一丁目（江戶川靴店隣 岡本齒科醫院跡）

利根川齒科醫院

朝鮮 中學校 商業學校 高等女學校 高等普通學校 入學試驗問題集

鮮學術研究會編 發行所 京城本町 ウツボヤ書店

大正七年度 入學の榮冠を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ

定價金五十錢 送料四錢

發賣所 京城日報社代理部 大阪屋號書店

理化學用器 硝子器 販賣

小野玻璃器製造所 小野專門分工場 小野玻璃器販賣部

外觀の美と質の堅牢

東京 竹內式金庫 熊平支店

男女 生徒募集

明正高等簿記學校

RUDGE-WHITWORTH LIMITED

英國皇室御用 帝國遞信省御用

ラーヂ自轉車

絕世の信用と名聲を有する自轉車は

安心して乘れる精良無比の自轉車は

有名なる自轉車店に販賣す 京城南大門通三 日米商店京城支店

電機學校 生徒募集

東京市神田區錦町二丁目

十日十日 勝負

強人をつきだし

ニセモノとしくだけ

散歩につりだし

ポケットにもたれこみ

非衛生に小手きふり

不消化をあたすかし

倦怠をひきおとし

貧血をすくひなけ

煙草をちつちやり

森永ミルクキャラメル

ヨ 一本印 ほまれ味噌

日本醬油株式會社京城出張所 電話長二四五番

スワン萬年ペン

繩叺廉價販賣 全北沃溝産繩叺 森田商店

自動車 東京自動車學校

精米麥機

生徒募集 咸興高等普通學校

建築技手養成急

今や新進工手大缺乏 帝國工業教育會

入札拂下 大正八年一月 李王職

外觀と實質と一致せる『千代田』は 厚き信用と多大の讚辭を以て愛煙家各位に歡迎せらる

千代田 貳拾本入 金七錢

東亞煙草株式會社

工場須知

鹿野清次郎先生閱 古館市太郎先生著 佐橋賢次先生著

布製一册 定價貳圓 送料八錢

造船 造機 鐵工

出でたり！絕好の羅針盤

東京京橋南鍋町 松邑三松堂

第四十一帝國議會

衆議院（二十日）

▼本會議

午後一時十五分開會、一般の報告あり たる後前日に引續き質問戰に入る 議長は通告順に依り望月小太郎氏 を喚ぶ

▲望月小太郎氏（國民） 登壇内田外相の演說は小說數篇が 見當に欺ふるが如く頗る物足らず 首相は在野當時外交は憂慮に堪へず と云ひたるも今日は一層憂慮に堪へ ず對支外交を見るに秘密政策拋棄 借款打切り妥協勸告等は同感なる も其の後の成行き如何に日支密 事協約の内容日支借款協約如何之 れが内容を公表し國民に周知せし むるは政黨内閣の義務なるに不拘 ずこれを公表せざる理由は何ぞや 又南北妥協に就き首相外相は餘り に樂觀に過ぎざるか各將軍の兵力 を中央に集中せしむるは一層急務 なりと述べ更に（一）寺内伯、後藤 男を外交調査會委員たらしむる理 由如何（二）露國回復に就ては今日 が最も好機なりと思惟す政府の所 見如何（三）西伯利鐵道共同管理問 題が今少しく詳細に說明されたし （四）講和條件は英、米、佛、伊何れ も發表せるに拘らず我國のみは發 表せざる理由如何（五）膠州灣は還附 するとするも南洋諸島の處分は如 何（六）國際聯盟は各國皆公開し居 れるに我國のみ決定せざるは如何 委員は外交の番頭たる内田外相の 答辯なるに弱くの外なしと外相を 攻撃す之に對し

▲原首相 登壇 聯盟の外交調査會にあるは日 支外交上何等憂慮す べき事態を生ぜずと 答へて降壇次いで

▲内田外相 登壇（一） 日支軍事協約は兩國にて絶對秘密 の約束あれば公表する能はず（二） 對支借款に就ては鑛業林業等あり しも打切りたり（下夕刊へ續）

▼朝鮮事業公債法改正法律案 朝鮮事業公債法中改正法律案二十 二日衆議院に提出さる（東京特電）

兩陛下の御弔電

天皇皇后兩陛下には李太王殿下廿二日 朝薨去の旨聞し召され直に御悲傷なる 弔電を賜りたるやに拜承す（東京特電）

□勅使御使御差遣

天皇皇后兩陛下には李太王殿下御葬儀 前勅使並に御使を差遣遊ばされ幣帛等 を賜はるやに洩れ承る（東京特電）

◇十萬圓下賜

提さき邊にては皇典研究所國學院大 學規模擴張の趣き聞し召され金十 萬圓を十箇年に分ち御下賜の旨廿 日御沙汰あらせられたり（特電）

◇世子邸弔問 各皇族御使以下數百名

李太王殿下薨去に就き各皇族御使 山縣、松方、大隈、西園寺、徳大寺各 元老代理原首相以下各大臣波多野 宮相以下各宮内高等官、長谷川總 督其他官民數百名は廿二日午前十 時頃より續々鳥居坂世子邸に弔問 せり（東京特電）

◇宮相以下凝議

宮内省にては李太王殿下薨去の報 に接するや波多野宮相石原次官長 谷川總督井上宗秩寮總裁等鳩首凝 議し諸般の準備進行中なり（東京特電）

◇宮内省發表

李太王殿下は廿二日午前六時京城 徳壽宮にて薨去されたる旨宮内省 より發表ありたり（東京特電）

◇長谷川總督參内

長谷川總督は二十二日午前十時五 十分參内 兩陛下に拜謁李太王殿 下薨去に就き言上御下問に奉答し 退下後波多野宮相、井上宗秩寮總 裁等に會見し數時間に亘り要談せ り（東京特電）

◇寺内伯御見舞

寺内元帥は李太王殿下御危篤の旨 を知るや二十一日直ちに關屋副官 を李王世子邸に遣はし御見舞を述 べたり（東京電）

◇入營兵請願休暇許可

陸軍にては農事其の他家庭の事情 が本人の歸省を要する場合又は本 人の助力なくして一家を經營する に困難なる場合は事情を具し入營 隊長に願ひ出づれば軍隊教育に差 支なき限り請願休暇として十四日 以内の休暇を許可することに決し 近く發表さるべし（東京特電）

◇滿洲製粉總會

滿洲製粉會社は廿二日午前十時よ り地學協會にて定時總會を開き年 二割六分の配當案を可決し次いで 取締役の改選を行ひたる結果何れ も重任に決し正午散會せり（東京特電）

◇チ政府陸相

チエック政府陸軍大臣ステフレキ ツク氏一行は十三日オムスクを辭 せるが近く朝鮮經由日本に向ふ豫 定なり（長春特電）

◎倫巴飛行

使用すべき最初の飛行機の公 試は十八日ヴエルサイユ

廿二日午後六時長春城內[illegible]

◎馬賊に襲はる

途中瓦房店驛にて機關車入替の際 貨車と衝突し機關車一輛貨車三輛 全部を他の列車に代らせ[illegible]

前より流行性感冒に罹り遂に持役 する筈なりしも此の疫病の爲め 沙汰止みとなれり

に於ける歐米宗教界の狀況を視察 せんため近く外遊の意あるもの、 ご同道せんとの心組にて令息竹内 雄氏も同道する由にて早くも京

大相撲十日目（廿二日）の主なる勝 負左の如し（東京特電）

大の高（ひれり）釋迦嶽
源氏山（寄り切り）大戸平
紅葉川（寄り倒し）友の浦
白岩[illegible]
[illegible]淡（寄せ倒し）[illegible]
[illegible]泉（吊出し）土州山
黒瀬川（引分）福柳
[illegible]

◇劈頭國際聯盟の討議に決す

講和會議に於ける議長の動議

講和會議は佛首相クレマンソー氏を議長に指名し後五大强國に各一 名の副議長を割當つるの提議を採用せり右終つてクレマンソー氏は ウイルソン、ロイド、ジヨージ兩氏を賞揚し兩者の希望が實現するに 於ては世界的大災厄を繰返す事無からん國際聯盟を實行 し得可きものたらしめんには一致團結を要 すと述べ尚ほ獨逸前皇帝刑法上の責任に就き二名の著名なる法學者 に闘りたれば其報告は何れ各委員に附託さる可き旨を告げ次いで 戰時中敵の爲せる罪惡及び國際上の立法に 就ては提言を提出す可く各强國に求めたり尚次回の會議は國際 聯盟を第一に討議するに決すとの報告を爲し之にて散會せり（巴里電報）

◇役員選任

巴里來電＝十八日講和會議役員左の通り選任されたり（東京特電）

議長 クレマンソー

副議長 四名（エー、ビー、シー順）

▲ロバート、ランシング▲ロイド、ジヨージ▲オルランド▲西園寺公望

▲書記局委員▲全權委員委任狀審査委員▲起草委員（以上三項の委員は五大國より各一名宛）書記局長ジユタスク（佛國）

▲日本委員 ▲書記局委員佐分利貞男 ▲全權委任狀審査委員松井慶四郎▲起草委員長岡春一（佛國大使館參事官）▲日本側内部の官房長落合謙太郎

◇休戰延期條件要領

巴里來電＝十六日締結されたる休戰延期條件要領左の如し（東京特電）

休戰期間を二月十七日午前五時迄延期す尚ほ 都合に依り更に延期することを得 又た新條件として（一）獨に取極めたる鐵道材料の代りとして農具 を引渡す事（二）獨逸にある露國俘虜の監督（三）潜航艇全部を聯合 國に廻航し廻航し得ざるものは破壞す尚ほ獨逸に抑留さ れある聯合國商船を引渡す事（四）獨軍の奪取せ る農工業用機械類を現位置に復する事（五）聯合國は新な る補償としてストラスブルク要塞の一部 ライン右岸堡壘占領の權利を保留す（六）食 糧補給の爲め獨逸商船を聯合國に一任する事

◇大聯邦組織提案

ヘジヤツ國王ジエミルフエイスルは目下巴里に滯在し自ら委員の一 人として講和會議に列席すべく紅海より波斯灣に及ぶアラビヤ諸國 全體を合し一大聯邦を組織し米國の保護の下に土耳其の統治より脫 せんとする重要なる提案を爲すべしと聲明さる（巴里電報）

暗黑歐洲追憶（四）

貴族院議員 石黑五十二氏談

又英國では、車中で戰爭の話をす ることを禁止されて居る。それか ら食物も肉か一週間に四回砂糖が 半斤といふ風に制限されてある右 は何れも切符制度で市役所或は區 役所といふやうな所に行つて切符 を貰ふのである。或日自分はレス トランに入つて食事をしたこと がある其時或る料理を食して更に

▲献立の注文 をした所 が『閣下は既に二皿召上つたから これ以上、如何程金を出しても差 上げることは出來ない。尚ほ欲す るならば他の店へお出でなさい』 といふ。他の店へ行けば又食する ことが出來るが、然し大抵の者は 二軒も三軒も歩き廻つて食るもの は無い。斯樣な次第であるから宮 殿の主催にかゝる晩餐會午餐會な どに於ても肉の料理は無い。又紅 茶類にも砂糖が無い。然らば英國 には砂糖が無いかといふとさうで ない或る時テームス河畔の

▲砂糖の倉庫 に行つた ところが此處の主事のいふには、 平時は一千噸の貯藏があるが、戰 時の今日は五千噸もあるといふ。 然らば平時よりも五倍の貯藏をし ながら何も砂糖を制限するには及 ばぬやうではあるが、其は萬一輸 入が遮斷された場合には、國内よ りも戰地の方が大事であるからと いふので斯して貯藏して置くのだ といふ。次にリバプールから倫敦 に行つた時、第一異樣に感じたの は、七十年八十年を經た大木が 悉く伐り倒されてゐたことであ る。スコツトランドも然うであつ たが、折柄スコツトランドに來た 時、或友人に向つて

▲實に惜しい ことをし たものだといつた所が、友人はさ も惜しさうな顔をして『木を殺す のが惜しいか人間を殺すのが惜し いか、此木を戰場に送るといふこ とを、一度考へて見給へ』と日本の 國情を疑ふやうな調子で云つた 又英國に於ては乘合自動車の運轉 手や電信や郵便の配達人は皆婦人 である。又電話電信等の工夫をし てゐる婦人も尠くない。次には飛 行機襲來の椿事であるが、其れは 五月十九日の夜のことである。乃 ち此襲來はオステンドから英國海 峽を越えて來た。その

▲襲來を豫知 するには 先づ機の響を感受する機械で調査 するといふ方法もある。而して其 れが分ると直ちに自動車で報道す る。すると平素から斯る襲來の時 は、何處に避難すべきかといふこ とが、指示されてある避難所は大 なるホテルの地下室か或は鐵道の 地下室である。恰度五月十九日夜 の襲來の時には、六階の石造作り の家に爆裂彈が投下されたが、此 の六階の三階迄は粉微塵に破壞さ れたが其時の死者は約二百四十名 といふ多數に上つた。要之戰時 國英國及び米國の狀態は、眞に擧 國一致であつて、唯偏に最後の戰 捷を期すといふことに全力を注い でゐることが充分確實に認めらる ゝのである（東京支局）一完

◇聯國會議の論戰

十三日聯合國會議は外務省に開催されたるが講和條約締結を可成 速かならしめんとするに一致せり而も議の模樣に就き聞くに各國委員 は慎重懇密の態度を失はざりしも討論は屢々高潮に達せりクレ マンソー氏は持論たる國家主義を固持して 頻りに熱辯を揮ひたるがウイルソン氏は之 に對し再三反駁を試みロイド、ジヨージ、ソンニノ兩氏孰れ も交々起ちて自家の主張を高唱する所ありたり會議は英佛兩國語を 使用する爲め許多の時間を要したりと（巴里電報）

◇葡國帝政復活宣言

葡萄牙王黨は帝政復活を宣言しマノエルは葡國元首となれり（リスボン電報）

◇倫敦タイムス新内閣評

巴里來電＝倫敦タイムス紙は英國内閣改造を評して曰く新内閣は英 全國を通じて深く失望の念を惹起すべし改造の結果内閣には少くと も新生命注入せらるべしとは一般の期待なりしに今や此期待は水泡 に歸せりと此のタイムス氏の所論は多數新聞紙の意見を代表するも のなり（東京特電）

◇釋放日本人消息

獨逸に抑留されたる支那人及び日本人百名はコツペンハーゲンに到着 したるも上陸を許可されず獨逸に送還せらるべし（倫敦電報）

◇江蘇米輸出許可

支那は日本の要求を容れ數量を限りて江蘇 米の輸出を許可せり（北京特電）

◇廣東の新借款

廣東當局は臺灣銀行と百萬元の借款契約を締結せり右資金は兌換維 持の爲めなり（香港特電）

◇鳳凰山鐵鑛合辦計畫

鳳凰山（浙江）鐵鑛合辦計畫は馮國璋氏對大倉組との間に進行中な り（北京特電）

◇米領事館下關設置

米國政府は今回關門兩市の請願を容れ下關市に米國領事館を設置す る事に決しウオールタールエイチショールス氏同地駐在領事に任命 されたる旨廿二日山口縣知事より下關市に通牒ありたり（門司特電）

◎總督代理弔問

山縣政務總監は長谷川總督代理とし て廿二日午後三時廿分德壽宮に參 訪ひ弔意を表したり

◎叙位條令改正

一月十八日附勅令を以て叙位條令 中左の通り改正公布の日より施行 せらるゝ事となれり

第四條 有位者死刑懲役又は無期 若くは三年以上の禁錮に處せら れたるときは其の位を失ふ 有位者左の各號の一に該當する ときは情狀に依り其の位を失は しむ

一、刑の執行を猶豫せられたる とき

二、三年未滿の禁錮に處せられ たるとき

三、懲戒の裁判又は處分に依り 免官又は免職せられたるとき

四、素行修らず有位者たるの面 目を汚したるとき

前二項の規定に依り位を失ひた るものは位記を返上すべし

第四條の二 有位者法令に依り拘 禁せられ又は勞役場に留置せら れたるときは其の期間位に屬す る禮遇特權を享くることを得ず 保釋、責付、假出獄又は刑の執 行猶豫の期間亦同じ

◎鮮銀券の傾向

朝鮮銀行券の發行高は二十二日現 在に於て一億四千六百萬圓を示し中 旬末に比し稍膨脹せるがコハ俸給 支拂ひその他月末關係の增加なる べく尚ほ越年後銀行券は漸縮せざ るべからざるにその多く目立たざ るは米價の强調にしてその貸出し の漸增に基くものゝ如し更に滿洲 の特産出廻りも盛期に入りしため 目先尚ほ相當額の發行は繼續すべ きかと

◎仁川期米昂騰

二十二日後場の仁川期米は正米高 と大阪前場の高止めを受けて買氣 旺盛立會へは先限三十五圓八十二 錢と三十二錢高に寄附き三十五圓 九十錢の高値八十七錢に打止め非 常の强調を示せり

◎對支借款方針に就て

最近奉天商業會議所の報ずる所に 據れば過般來支那に於る日本の活 動特に借款問題に關し種々なる說 傳はりて帝國政府を誣ふる者少か らず固より支那に於る吾が國民の

▲財政經濟上 の企畫に して隣接友交國間の特種關係に 基づく當然且つ正當の成果たるも のは政府に於て之を阻止するの措 置を取る事を得ず又支那一般の康 寧福祉の爲め必要なるに於ては 政府は累次の宣言及び諸外國との 協定の條項に抵觸せざる限り支那 に財政上の援助を與ふるを躊躇す るものに非ず然れども支那南北內 訌の現狀に際し對支借款は動もす れば南北何れか一方の誤解を招き 延いて支那は勿論關係列强の最も 切望せる支那の平和及び統一の恢 復を阻害する事あるべく從つて政 府は支那國內の政局に紛糾を加ふ るの虞ありと認めたる

▲借款其他 財政上の援助 は之を差し控ふる事に決したり此 の方針は支那に利害關係を有する 諸列强の切に贊同する所なるべき を信ず時局の進運に伴ひ本邦資本 家の支那及び西伯利投資は外交上 將た又國家の財政並に經濟上に影 響する所少からざるに鑑み今般政 府に於ては次の如き方針を決定し 茲に之を勵行する事となれりと同 地總領事館は發表せりと。即ち自 今本邦資本家に於て支那及び西伯 利方面に對し其の中央地方何れの 官憲たるを問はず苟くも之に經資 を融通する事となる行爲又は類似 の交渉を開始せんとするに當りて は必ず先づ之を

▲外務省若くは 當該 帝國大使館又は領事館に申報の上 指示を受け尚ほ隨時交渉の經過を 申報する事を要す外務省に於ても 速かに大藏省及び其他の關係官廳 と協議の上關係資本家に對し隨時 指示すべく關係資本家に於て前項 の指示を俟たず又は指示に反して 交渉を進行する時は政府に於て與 援を許與せざる事あるべし又問題 の性質又は交渉進行の程度により ては關係資本家に對し直接に大藏 省又は其の他の關係官廳より指示 する事あるべしと

◎捕査委員會

高等土地調査委員會にては二十二日午後一 時半より總督府會議室に於て第一 部の委員會を開けり

◎軍司令官歸任

宇都宮朝鮮軍司令官は南鮮巡視中の處 廿二日夜龍山歸著直ちに官邸に入 れり

◎垂井要塞司令官

鎭海灣要塞司令官垂井少將は事務打 合せの爲め二十二日夜入城二十三 日午前十時軍司令部に登廳二泊の 務の打合せを行ひ退城の筈なりと

◎植村博士張宴

總督府醫院外科部長植村博士は二十三日官民有力 者を朝鮮ホテルに招待張宴する由

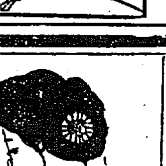
◎釘本氏張宴

京城商業會議所副 會頭釘本藤次郎氏は二十二日帝花 月に誕辰自祝の意味を以て官民知 己を招待張宴せり

鳥瞰錄

▲露國廢帝は幾度 も死んだり生 たりしてゐた がエカテリンブルグで過激派の爲 に殺されたと云ふ事は最早事實と して取扱はれてゐる▲處が其の殺 された筈の廢帝が生てゐると云ふ 說が未だに外國には傳はつて居る が之れも其の一つで如何にも眞ら しい▲此の說の出處は波蘭のワ ルソーから打つた聯合通信記者の 電報で其れに由ると前小露獨裁官 スコロパドスキーの甥に當るミカ エル、ド、チハチエフと云ふ人が同 通信記者に語つた談話である▲露 國廢帝と其家族が皆生てゐる事は一 點の疑ひが無い予は其確證を握つ てゐる▲而し廢帝が何處にゐるか と云ふ事を明すことは出來ない廢帝 も自分の居所を知らるゝ事を好ま ない▲尤も聯合國政府は廢帝の居 所を知つてゐる筈だ其れは某中立 國だ▲エカテリンブルグで慘殺せ られたと云ふ話はレニンとトロツ キーが主義宣傳の爲に捏造したも のである▲廢帝が露國を逃れ了せ るには莫大の金と時間と多數將 校の生命を犧牲にした▲殺された 將校中には廢帝の前御附武官たる タチチエフ伯爵もあるが同人は廢 帝の身代りに射殺せられたものだ ▲而して廢帝脫獄を起した文書は ペトログラード駐在獨逸領事クー ニヒの手許にあつたが彼は之を伯 林政府に送附したと▲嘘言か眞か 知らぬが嘘言にしては事實らしい 嘘言で好く出來て居る▲時節柄面 白いから紹介した丈けで眞僞は鳥 瞰子も知らぬ

字探し募集



懸賞

問題 何んと云ふ萬年筆を御使ふて居ますか？

賞 正解當選者一人一本限り 定價金四圓五十錢オゾン萬年筆 合金ペン附屬品付 五百本提供

答解の送り方 ハガキに限る、宛名 大阪桃谷驛東側オゾン萬年筆製作所 〆切二月十日各員立會先着順に正解當選者に通知す

主趣方法 本品は今回始めて社會に生れ新案品にて從來のインク止式と異り内部の構造自在にインキを吸入する最上の理想品なり[illegible]

オゾン萬年筆

最新刊

朝鮮教育研究會編 朝鮮法規提要 價七十五錢 送料八錢

王政復古の歷史 萩野 一、五〇 八
[illegible]の心得べき事 [illegible]
近世偉人物語 [illegible] 一、五〇 八
[illegible]新書（上） [illegible] 一、〇〇 二
[illegible]探偵記 深谷 古川 一、三〇 八
西鶴物語 一代女 吉井 定價一圓 送料六錢
[illegible]死の喉に 園部 一、五〇 八
百人一首物語 吉井 一、三〇 八
乳人政岡 碧瑠璃園 一、五〇 八

◆裏門から 露國宮廷 定價五十錢 送料八錢
世話狂言の研究 一、二〇 八
サアニン 中島譯 一、六〇 八
戰騎遠征 福島大將 一、四〇 八
理想の食物 伊藤 一、二〇 六
末日頌 富田 一、三〇 八
逸話の泉 第六 高島 一、〇〇 八
◆犯罪少年の告白と個性調査 一、八〇 一三

京城本町一丁目 大阪屋號 電話[illegible] 振替京城[illegible]

禮廻りや 新年會の 飲み過 食ひ過には ソレ直ぐ 胃活を用ひ玉へ

（胃活一壜壹圓、五拾錢、參拾錢、拾五錢）全國及海外要所の各藥店にあり 本舗…大阪東京、山田安民藥房

李王職用御 模範牛乳 ニウソ 石鹼洗粉

主場 太正塚肥酪獸 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五一番

陸軍御用 ツ 各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 萬一藥店に品切の節は本店へ御注文願上候

人蔘エキス

朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話八〇番 四一一番 電話七〇番 一八一一番 振替京城三五一一番 電略（ツ）又は（ムツ）

外科 皮膚科 瀬戸醫院 京城旭町二丁目（舊三丁目） 電話四九八二 醫學士 瀬戸潔 （診察夜九時迄）

先生の許した 女學生の唯一美容法は…

純白美乳（ホワイトビニウ）

世にも優れた一滴の効果！

美しいと申しても學生の間は何んな粉飾でも十二分に人を魅するといふ譯には參りかねますものですがさて卒業期が近づくに伴れて氣になるのは外容美の點——併し人間の皮膚は如何に念に焦慮つても遽に色白の小町娘となることは出來ません、ですけれど茲にタツタ一つ日本に初めて出來た純白美乳の一滴をお試みになれば何んな性來の色黑の方でも三分と要らぬうちに生地からの白色美人となり幸福な結婚、幸福な家庭の人となられた方が實例太だ多く今や若夫人、令孃間に純白美乳でなければならぬと湧くが如き高評、女學校の先生方も女學生の唯一美容法として純白美乳を激賞してゐらつしやいます

僅か一瓶で美人となる 試驗はタツタ一週間！

巴里倫敦間の飛行に

スツルマン兄弟の發表に據れば…日出發の筈なりと(巴里電報)

○列車の衝突

廿二日午前八時大連隊某の列車は…

○梅幸重患か

肺炎併發の恐れあり

…劇出勤中なりし尾上梅幸は數日…依れば肺炎を併發するの恐れあればとて頻りに變更しつゝありと…梅幸は二月…舞伎座に久々出勤…

遊せん

竹内栖鳳氏同道

東本願寺法主大谷句佛上人は戰後…米に漫遊して…過したることなれば此際外遊を試むるも一興なり出來得べくば法主…

○東京大相撲

春場所千秋樂

大達の矢(…)若…／大　岬(引分け)綾川／岩木山(突き出し)錦山／兩國(もたれ込)矢筈山／太刀光(掬び投げ)御西山／玉　鳴門(寄り)逆鉾／九州山(寄切り)阿蘇嶽／大　錦(掬び投げ)千葉崎／中入後／大の里(押切り)長門洋

○李太王國葬

十萬圓以上支出か

薨去あらせられたる李太王殿下の御葬儀につき畏き邊りにては國葬仰せさるべく其經費として十萬圓以上を支出する事となるべし(東京特電)

▽別報　長谷川總督は未だ東京に居殘り原首相と諸般の準備に就き協議中なるが右は我皇族の國葬の前例に鑑み李太王殿下の御葬儀を國葬を以て執行はんとの議にて多分首相も同意なる可く既に宮内省とも打合せありと傳へらる(東京特電)

▼李王家の舊制を參酌して新らしい御葬儀樣式を制定

李太王殿下御葬儀は國葬の御沙汰あらせらる可く廿一日來宮内省より大藏省、内閣、陸海軍兩省、朝鮮總督府等の間に頻回の往復ありて

▽國葬掛の任命ある可し事務所は京城及び宮内省内閣の中に置き京城へは東京より係員出張の筈にて御葬所、式場は葬儀會議にて決定し式典は内地及び李王家の舊制を參酌して新に制定さる可く而して

▽喪主は李王殿下なり朝鮮の舊制は父母の喪は三年なるも祭祀令に依り李王同妃及び王世子殿下は一年の後除服出仕仰付らる可しと承はる(東京特電)

…大將内定せる由費用は約十萬圓にて豫備金中より支出さる可く宮内…

◇宮中喪は仰せ出されず

宮中にては外國君主、大統領並に内地皇族以外の薨御薨去には特別に宮中喪を仰せ出されざる恒例なれば李太王殿下薨去に就ては宮中喪仰せ出されずと洩れ承はる(東京特電)

▼皇族殿下御差遣

天恩海よりも深し

天皇皇后兩陛下には李太王殿下薨去の凶報に接せられ太く御驚嘆遊ばされ御宸襟を惱ませ給ふ事一方ならず實に恐懼に堪へざる次第なり何れ不日我皇族殿下及び侍從を御差遣御弔問あらせらるべしと洩れ承はる(東京特電)

▼哀しき御通夜

慟哭の聲に夜は更けて　御靈前の燭光夢の如し

悲しみの裡に暮れた德壽宮の夜は晝間の混雜に引替て悲痛の氣深く漂ひ暗き空に凝つて月影を秘め、天も亦悲しむかの如く見えた　此夜李太王殿下御寢殿の御靈前には黄金色の綃布帳を張り…

▽御亡骸を安置しその上には綾で…德壽宮にて御華蓋…りたる繻子百五十疋を以て御布團…に包み御亡骸の上を覆ひ奉り屏風を以て周圍を繞らし御靈前には燭光いとも靜かに輝く中に御生前御嗜好遊ばされたる菓子果物等を供へ奉り殿邸の下には數多の

▽燈籠を點じ殿前には古例に則りて蓆を敷詰めあり。斯くて李王李堈公兩殿下及び同兩妃殿下を始め御近親、貴族近侍等孰れも殿の上に跪坐し男の人々は兩殿下を始め麻の冠りを著け左肩の衣を脱ぎ女の人々は兩妃殿下を始め

▽結髮を亂して髮飾りを抜き被髮と申し殿前に泣きて小斂の儀を終へ更に奠の儀を行はせられ悼しき第一夜を御通夜遊された

▼廢朝仰出されん

石原宮内次官談

石原宮内次官の談に據れば李太王殿下の御葬儀は多分國葬にて行はる可く御葬儀當日は廢朝仰出さる可しと(東京特電)

▼唯、慟哭の聲のみ

大漢門前の群集夜と共に益々增加す

御發喪と同時に大漢門前に集ひ寄り交々哀悼の意を表して居た群集は夜に入つて却つて其數を加へた　中間受けの前に跪坐して慟哭する者は晝間も大分あつたが、夜に入つてからは數十人の男女が門外に突伏して慟哭し深更まで動かうともしなかつた　訪ふ人も車馬の往來も次第に影を失ひ、深沈と更け行く德壽宮の内外には只慟哭の聲のみ漂つて居た。

▼各宮家の御弔電

廿二日午後二時各宮家別當事務官宮内省高等官參集協議の結果各宮家より李王王世子李堈公李鍝公各殿下に御弔電並に御料理御菓子を御贈進あらせらるゝことに決定せり(東京電)

□御臨終

刹那の御容態

(夕刊の續き)李太王殿下の御病狀は其後御同樣に亙らせられしが廿二日午前一時に至り御諸症御增進あらせられ御脈は益結滯し御呼吸は漸次にシヤンストツクス式に傾き同六時に至りては御心臟全く痲痺せられ遂に薨去あらせらる

大正八年一月廿二日
李王職典醫　金　瑩培
同　囑託醫　神岡　一亨
同　　安　商浩

▼長官曰く

取る物も取り敢ず引返した

王世子殿下御婚儀の…東上の途に在りたる…李王職長官…贊侍、…侍の三…御使及び

◇宮島より

引返した一行を乘せた列車は廿二日夜九時…關…李太王殿下御重患の急電に接して東上の途中にあつた…閔…璜氏、田中李王職事務官、田…中贊侍等の一行九名は東上の途中…南大門驛着の筈であつたが…に故障を生じた爲二時間餘延着して十一時十五分南大門驛に到着した一行は李恒九、李源昇兩事務官を始め多數の出迎者に對して一々會釋の暇もなく直ち、自動車を驅つて德壽宮に入つたが是より先閔長官は平澤迄出迎へたる記者に對し愁然として語る『私達一行が廿一日關釜連絡船にて』

◇急行列車

で東上の途にあると三田尻驛で驛長が慌たゞしく閔長官急電でもとて一通の電報を屆けて呉れた何事かと思つて開いて見ると李太王殿下御容態急變の電文であつたので早速一同を喫煙室に集めて斯くと披露すると何れも驚き措く處を知らず哀號々々と云ふのみで暫時は何れも頭を押へた切りであつた兎に角引返せと云ふのであるから引返す事になり宮島から引返して來て今朝釜山で始めて

◇薨去の旨

を聞いてこの度は一層悲しくなつて歸つて來た

▽午餐を賜はり

…は昨年の今頃(一月)王世子殿下御歸鮮の砌石造殿にて總督始め國分長官及び自分等に對し御賜饌あり殿下には當日殊に御機嫌麗はしく…長官及び自分等に對し…御手づから…にて誠に御賑やかに笑ませられ何かと自分等と共に寫眞を撮られ一枚宛賜はりたるが、皆に

▽辭令巧妙

に渡らせられ此の邊が故殿下の深き帝王學の御造詣を裏書するものであらう而して外交に政治に婉曲なる御手腕を發揮されしことを想望し奉つたのである夫も今は唯徒らに賜りし御寫眞のみが思ひ出の種となつた

▼書に御堪能

子爵　宋秉畯氏

御退位後の李太王殿下は一世の御英主より暖かき家庭の王者に御境遇が變つて讀書に御餘念も無く書にも極めて御堪能なりき天若し今一層御齡を太王に假さば御一代の御盛儀に嘸かし御滿足遊ばしたらんにと一しほ哀悼の念に堪へず予は廿二日夜歸鮮の豫定なり(東京特電)

▼恐れ多き許り御仁慈

女官　戸川錦子女史

李太王殿下の御晩年御寵愛を蒙り…常に御側近く…非常に下々の者を思はれるお方で如何に御不興の場合でも下々には決して其樣なお顏を示されず…

▽恐れ多い　お言葉を下さいました又火事のあつた晩なぞ必ず近侍を召て『何處が燒けた、燒けた家の者は嘸困るだらう』と仰せらるるのが常でした、李王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との

…に春のやうな暖かい御心を以つて惠まれました私達のやうな賤しい者まで寒いのに何うして來た、斯う遲くなつて何うして歸るなど度々

▽美しい方　だね此の著物は何と云ふのか、何十二重を著て仰被つた…

御婚儀に就ては何よりもお喜びで私が京城日報に出て居た方子女王殿下の御寫眞を切り抜いてお眼に掛けましたところ『大そう美しい方だね此の著物は何と云ふのか、何十二重?』など仰せられ…『婚儀の日も段々近付いて來た』と大府御機嫌の御模樣で御座いましたのに俄の御薨去、なる二日前の事で全く夢の樣で御座います』

□寫眞說明

大漢門前の群集と李太王殿下(上より最近の李太王、フロツクコートを召されたる李太王、御禮裝の李太王、御在位當時の李太王)

記念寫眞

松永道長官談

處さる李太王殿下國葬に就ては未だ何等の報にも接しない從つて何う處置していゝか見當が付かない

此上は宮内省の御指圖によるの外はないのであるが而し御靈柩は十年に一度宛調製され長御殿に納めてあるから多分それを御使用になるであらう』

▼涙を唆る　御重患と云ふ事は昨紙の號外に依つて知りたるも日頃御健康の殿下の事なれば日ならず御快復遊ばすならんと陰ながら自分も念じて居た……天命は是非もない事と言ひながら切めて王世子殿下御慶事後まで御存生あらば

▽日鮮同化の上に於てもより多くの福祉を齎したであらう、夫につけても思ひ出されるのは昨年の今頃(一月)王世子殿下御歸鮮の砌石造殿にて總督始め國分…

▼御葬儀は一月以内

國分李王職次官談

▽寢室に入らせられ　御少憩あり隨從の諸員も前夜來御夢圓かならざりし殿下の御胸中を推しまつり別室に退きたるが暫くして國分次官は謁を乞ひて曰く『今回の事は實に申し上ぐる言葉なし、公式の喪は近く宮内省より發表せらるべし、李太王殿下の…

…廿二日午前八時半諸員御見送りの裡に歸鮮の途に就かせられたる王世子殿下には勳一等旭日章副章を胸間に帶ばせられプラツトホームにては凛たる御風姿恒に變らせられざりしも發車の後は直ちに唯御一人展望車にこもらせられ

▽新御殿に移り　又淺野公爵家(故恭子の方)の御葬儀の如きも始め廿五日とありしを御遠慮ありて二十七日に御日延あり諸般の事最も順調に運びしに彼らその御喜びの深かるべき李太王殿下の斯かる御變ありしは返すくも遺憾なり

▽英明の資　に在せしは元よりにして世子殿下御慶事に就いては御慶び深かりしに此事あり人事の變測られずの感深し。二十一日には梨本宮家より數々の御調度品搬入あり附添ひの女官も恐く御増築の…

▼哀しき梨本宮家

方子女王の御心痛

御調度搬入の矢先に悲報

李太王殿下御重態の報ありし夕、澁谷なる梨本宮邸にては恰も七十荷に餘る御婚禮の御調度を鳥居坂の王世子邸に運び込まれし許りなりき今の今迄御慶びに賑やか…月に雲の懸りたるが如く暗然として訪る、車輪の音さへ無く玄關及び各窓の扉は固く鎖され寂寥云ふ許り無し守正王殿下には急變の報に接せらるゝや一切訪客との御面會を謝絶され居れり尚宮家家職某氏の談に曰く『李太王殿下御病氣の事は二十一日午後四時頃李王職高事務官より意外に唯々驚くの他なし方子女王殿下にも之れを聞し召され非常に御心痛の御模樣に拜せらる』云々(東京特電)

▼俄に軌の音も絶えて

…氏其他參邸御見舞申上げたり(福岡特電)…國分李王職次官、武田御用係等は…李完用伯、李允用男、厳柱益…

▼御夢も圓かならざりし

其夜の世子殿下

御胸中推察するだに涙の種

王世子殿下には二十一日御機嫌麗しく午前七時近衞二聯隊に御出勤あり八時ともなれば梨本宮家より妃殿下御調度品御搬入あり瑞氣

邸中に漲ぎれる折柄

同九時十分京城より李太王御病氣の入電ありたれど此折なれば次電を待つべく言上を控へ居たるに午後一時半御危篤の入電あり即ち電話にて殿下の御落着を慮かり

何事も聽に上げず御歸邸を言上

し同三時半御歸邸後高事務官より右言上せるに殿下は御愁傷の裡にも御覺悟の御樣子にて御居間に入らせられ常には九時御就寢相成るに同夜は十

一時迄お眠醒め

次電を待たせられたるが寢室に入らせられたる後も御夢圓かならざりしやに拜せられたり斯くて同夜遂より御歸鮮の勅許を得させられ御支度ありたり二十二日午前六時御眼覺め同七時五十分東京驛に成らせられたるが京城よりの入電と共に國分李王職次官、武田御用係等…

▼御婚期

追つて發表

李王世子殿下御婚儀は李太王殿下薨去に由り延期となり追つて宮内省より御婚期の指定發表ある可しと承はる(東京特電)

▽御葬儀は　古來の慣例に依れば約一年と云ふ長期の日子を費すべきも大正古例に依り今日の時勢に應ずる樣期間を定め約一月にて終了することなるべし但し遺骸は歸鮮後は石造殿に入らせられ御葬儀終了迄滯在せらるべし御葬儀につき

▽皇族殿下　御差遣の儀相成るや否やに就きては何れ宮内省より發表あるまでは言明する能はず』云々(福岡特電)

□半旗を掲げよ

李太王殿下二十二日薨去遊ばされしに就き夕刊所報の如く京城府に於ては之れが弔意方稍打合せする所ありしが府民一般としては二十三日各戸に半旗(弔旗)を掲げて國旗をかゝげ哀悼の意を表する爲め竿頭より下げる事と爲り居れり

▼梨本宮殿下へ御優詔

御婚儀延期に關し

梨本宮同妃兩殿下には廿二日午前十時四十五分參内兩陛下に御對顏御結婚御延期其他に就き遲滯なる御挨拶を拜し同十一時廿分御退出相成りたり(東京特電)

▼王世子殿下

東京御出發

李太王殿下御重態の報に接し李王世子殿下には廿二日午前八時…分李王職次官、高事務官、金武官を隨へさせられ御歸鮮の途に就かせられたり驛頭には長谷川總督、宇佐美、鈴木兩局長、伊藤式部次長、石原宮内次官、南部梨本宮事務官、小宮御用掛、坪井梨本宮家事務官、太野(?)宗秩寮課長、古谷久綱氏等御見送り申上げたり(東京特電)

▼李完用伯引き返す

王世子殿下に從ひ歸鮮の途に着ける李完用伯は李允用男、嚴柱益氏と別室に在り李完用伯は廿一日午後入京直ちに世子邸に伺候せるのみにて引返す仕度に取掛り隨員等は一睡もせず六十二歳の伯は顏色痛く憔悴し『今回の事に關しては發言するを得ざる理由を有す』とて何事も語らず(福岡特電)

院長舊臘來肛門病研究ノ爲上京中ノ處歸院從前ノ皮膚科ニ肛門病科ヲ併置シ診療致候　京城明治町二丁目　皮膚科　肛門病科　佐藤病院　電話一一七番

東京　御出發

完全堅牢第一　賣用製繩機　價格大割引　特約販賣店急募　龍山驛前電車通　酒本商店　電話六〇八番

御葬儀に付一月廿三日より…廣告…

最上清酢　植山本家　京城本町四丁目　三矢酢造場　電話五七〇三

京日案內　一回前金…

男女社員募集　京城花園町一〇七　淺野

旭炭團御小賣　京城南大門通御成湯前　宮崎商店

給仕入用　京城大和町一丁目四十四番地　大倉組出張所

醬油釀造所讓渡　…

事務員招聘　…

毛皮なめし並仕立　京城本町四ノ一五　山崎商店

御袴仕立專門　京城本町…

年金恩給　江州屋本店

有給社員募集　明治公債

新古衣服注文送　…

古ミシン高價買入　電話…楠商店

母と子 (八十七)

北島春石作 森田久甫畫

渦まく波 (三)

さも憎さげに眼を光らせた剛平は、お鯉こ鏽造を右見左見した後、鉢切れさうに頰み膨らせて大息を吐いた。

『ふ・む‼まつたく變つた土地で逢つたものだ。お前が奧樣氣取りで丸髷に結つた樣子を見るこ、近頃はこの男の持物になつて居るらしいな。』

『無論だ。』こ、大きく肩を搖すつて冷笑ひながら、鏽造は猶も未練々々、彼方に遠ざかり行く志保子のうしろ姿を見送りつつ『俺がお鯉を手活の花こ眺めようこ、別に高松君から故障を持込まるゝ筈もなからう。』

『さうですこもね。』こ、お鯉はわざこ鏽造に寄り添うて『繳さへ切れたらあかの他人、出雲の神樣が鉢を利かせた中だちで、今ぢやこんな好い旦那が出來たんですから、ついこの間までお世話をして下すつた館で、どうぞね、高松さんも喜んで下さいよ。』

『誰が‼』こ憎んで吐出すやう『あんまり甘く見て貰ふまい。だが、俺も男らしく諦めて愚痴を言はぬ代り、こゝで是非こも佐久間に返して貰ふものがある。』

『ハテナ何を返せこ云ふんだらう。』こ、鏽造の眼が怪しく光る。『別に借た物がない筈だ。』

『いや、親不孝女の淡紅子は熨斗をつけて與れる代り、あれに盜み出させた七千圓の金は返して貰はう。』

ふいに亦鳳鋭く斷ごまれたのには、さすがの鏽造も愕然こしたが、それを顏色に現はすまでの鈍痴では無い。

『あッは・・・早潮から何を寢惚けてゐるんだ。なる程、中洲の家に遊びに出かけた折、二度や三度は淡紅子こいふ娘に逢ひもしたが、まさか、この輭面に迷ふべき筈もない。そんなお門違ひするよりだこ、近頃は大分老込んだこ見ゐるな。』

『ほんこにねえ。お味噌汁で顏で洗つたら何う？』こ、お鯉までが揶揄を入れる『先刻の志保子さんぢや些こは鑢けもしたけご、いくら佐久間さんが物好きだつて、淡紅子なんて乳臭い嬰兒を調戯ふものかね。』

『何有、佐久間堅一こ云ふ不良書年が淡紅子を誘拐したんだ。』

『堅一こ云へは俺の弟だが……もう大分以前に朝鮮へ行つたまゝ今ぢや風の消息も打絕て居るが』

その弟に七千圓の大金を貸したこ云ふのか。』

『承知で貸したならば斷念もつくが、愚かな娘に惡智慧を飼つて盜み出させたのぢや、俺もだんまりで濟まされんのだ。』

『それや氣の毒千萬だ‼然し、兄が必ずしも弟の尻を拭ふべき責任がない。娘を誘拐されて猶大金を盜まれたこならば、何の躊躇するこころもなく、今が今でも其筋に訴へ出で、俺の弟にしろ決して遠慮は入らんから、十分に制裁を加へたが宜からう。』

您う手酷しく突放されては、如何に無念骨髓に徹しようこも歯が立たない。それだけ、剛平は胸が煮ら立つばかりだつたが、今は詮なしこ成らぬ堪忍して、

『うむ、さうまで押太く出るならば、此方にも又相當な考量があるが……それは後日に讓るこして、こゝでもう一つ確り斷つておくが、今度志保子は實家へ緣付ける事こなつたで、これからは兒苦しく後を追つて貰ふまい。』

『手前や、神崎こか云ふあの青二才が聟の候補者なんだな。』こ、今は鏽造が無念の拳を握り緊めた

『さう聞けば此方にも考量がある何うせ、血緣の而も子供のある事は秘密に相違ないから、それを材料に一泡吹かせてくれよう。』

『ね、…邪魔め。』こ、剛平は赫こなつて詰寄た『貴樣は……貴樣は未だ高松の一家に祟る了簡か。』

『叶はぬ戀の衛野ー志保子の生涯は暗にしてくれるばかりだ。』

『何だこ……』

『何を……おいぼれ奴！』

双方から血相變へて詰寄るを、お鯉は眞中へ割込んで引分けた。

『そんな詰らない喧嘩はお廢しなさい。わたしのやうな女だつて、ほんこに馬鹿々々しくて聞いてゐられない。』

京城明治町一丁目
入院隨意
胃腸病院 電話二五九番
院主 佐々木杏造

牛乳 御用 朝鮮總督府病院御用達 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

◎鮮人教員内地視察團 (承前)

(永前)より

○夕方汽車により福岡へこ志し申候て明くる十日の朝七時に馬關に著し候に又復教育會の諸君の送迎を忝なうせり親切厚情只々感泣の外なく候門司にまゐれぱこゝにも市視學盛迎せらる直ちに發車致候が沿道工場多く煙突林立する盛況には一行膽をつぶし申候福岡に著すれば市縣の諸君多數迎へらるこの縣は我一行の山路君の鄕里にして知己多きこ本縣出身の敎育者が鮮地に多く其の上最近二年に滿鮮視察に見られたる人もありて緣故深きことによりて格別歡迎に心をこめられたるこ覺ゆ有り難く存候縣廳に投じ少時休憩の後福岡大學を參觀し櫻井博士の人體解剖實習の教室にまゐり候數多の人體を數十の學生各刀を執りて解剖研究するところにて誠に容易に見られざるところを見せ貰はるくも珍らしく候櫻井博士は先月渡鮮し京城中學等にて體育講話をなされし緣故あれば殊に懇篤にて國民の爲めに說明せられ候東公園りを散策し龜山上皇日蓮上人の立像に元寇の昔を偲び國難に際しては上下一心こなるを想ひ國體の精華國民精神の磅礴する所を曉らしめいたゞき申候。箱崎八幡宮に詣じ、神酒を申し候此行脚初に宮島にて旅行の平安を祈り今最終にこの名社に詣じ、無事の旅行を感謝致候は誠に事に首尾ありこ可申か不思議に御座候。夕方井上人形店を訪ひ名物博多人形製造の樣子を見學仕り候主人懇篤にしていろ／＼製造の說明販路の話など致し吳られ又禁目は態々同員一同に人形一個宛を惠贈せられ候好意謝するに餘りある儀に御座候夜は公會堂にて市の歡迎會に招かれ大須賀助役の熱烈なる歡迎辭を受け申候宴後ストウブの火赤きこころにて歡談し身異鄉にあるを忘れ申候夜雨なり珍らしく感じ申候翌日は十日なり朝雨を侵して奈良屋小學校にまゐり參觀仕候この校の體操の見事なるは誠に感服の外なく其の姿勢の美良行動の正確にして氣力の充實したるところはよき模範を與へられたりこ可申候物産陳列館にまゐり縣下物産の實物を見一縣にして斯くの如く多産なるは又以て內地の物産の豐富饒多なるを語るものなりこ皆申合候此處にて縣教育會の饗應を受く會長幹事男女兩師範學校長圖書館長等列席せられ歡待致され候午後は通俗博物館こ圖書館こを參觀仕り候が圖書館は近今の落成にかゝり見るからに心持ちよき建築に御座候只今は所藏も多からざれご之より年々充實せしむる計畫の由館長は文學士にして長く中等教育に盡されたる方の由率直朴實の人柄にして懇切に說明せられしは誠にうれしく被存候巡回圖書庫こ幼年閱覽所こは誠に團員の參考こ相成しやに存候夜は解團式を旅宿にて行ひ旅中の所感を語りこの奇緣を忘れず將來永く提携して敎育に盡さんこ契りし申候此の日雨のために福岡炭坑見學を中止したるは遺憾にして先方には種々準備せられし樣なりし故氣の毒千萬に存じ候

京城本町 千代田號印舖 電話九八〇・九八七番

電話賣買 京城明治町一丁目 萬年社 電話一八四四番

◎山陰道の雪

山陰道一帶は十九日朝來西風強く寒氣加はり夕刻より降雪あり非常なる吹雪こなりしが今回は雪の本場たる但馬方面よりは寧ろ鳥取縣下一帶が比較的積雪多く四寸乃至八寸に及びたるより十九日上り夜行及び鳥取米子間は後部補助機關車を連結せるが各列車何れも廿分乃至五十分位延著しつつあり鐵道院にては濱坂、湯間に十九日夜よりラッセル排雪車を運轉すべく鳥取より濱坂迄進ばせしめ準備中の處前記の如く積雪比較的に甚だ少なく同夜運轉の要なく廿日朝に至り線路の氷結を防ぐ爲め運轉せしめ更に鳥取米子間も二十日午後往復運轉し雪に力めたり尚雪は廿日夜一回より廿一日に至るも尚歇まざれば積雪更に加はらん模樣なるより鐵道院は各所員を出し警戒し居れり(米子)

日韓俳壇

團鴨原、紫光二氏を迎へて(承前)

遊々平壤から見に來た中村紫光君の爲めに福田君が紹江亭主人、安達綾半の三名こで、さゝやかな句會を五日の晩私の宅で催したのである。紫光君の句にドコか力强い光りのあることを感じて居りましたが今度始めて一堂に會する合に及びそれは終始柔きさして句作して居られる其の眞摯な態度から出るものであらふと私かに感じました(貢)

蜜柑盛れたグルリの異つた顏 鴨原
支那人の大きな掌に蜜柑一つ 同
女つれ蜜柑むきながらカルタ取る 同
風呂歸りの袂に蜜柑重たし小供を連れ 同
密柑山に陽落ちて海の遠鳴り 同
蜜柑剝く其手一ツ／＼に冷たさ 紫光
風荒れ密柑畑の家は落日哉 同
ちらと鳥の遠く飛び落ちる蜜柑畑 同
蜜柑むいて剝く兒火鉢を圍み かよ子
窓陽射しに蜜柑剝く兒の兒の話 同

鴨原さんに

甚く醉ひし君の袂に蜜柑かな 同
座掃く母と蜜柑かなし一ト間かな 綠窗
いく寒さ君が部屋の蜜柑剝ぐ 同
蜜柑食ひし口の爽かなる煙草かな 黃緒
荒壁に日の射く汽車や密柑の陽 同
高原に蜜柑のあり處密柑剝ぐ 同
農家を隣は掲げる蜜柑かな 同
酒絕てる父足なげに取る密柑 錦扇
今し眠し落行く見の手の蜜柑 同
密柑畑の細出に鳥はきれける 同
陽落ちる密柑枝に籠が揃へて 芳宙
夕陽没し密柑の皮よ螺は廣々 同

日韓柳壇

＝劍花坊先生選＝

城

城壁は堅く西門を取り壞し 三貨子
淸正が壁土に食ふ虫の氣味 土呂昭
難攻不落を日の丸が落し 同
壁瓦斯昔ながらの千草城 梨郎
城の壁今は昔の夢の跡 唐天生
城山について若い白虎隊 丁六
城跡が畠になつて笄子は泣き 輿名
花の咲く頃は古城も人の足 重浩
この邊で軍が有つた古い城 厄介坊

夜店の領分

▲朝鮮銀行に昨年來られた若い人よ餘りに南山町の飲食店さ……安くならうこさは……身の爲になりませんで君はそこの……を知らないからだ一寸御注意する(元に川の密者)▲愛犬者に注意する近來犬殺しが鑑札の有る犬も捕へ且鑑札をも引き取り犬者迷惑ならず而も十分……本町通り二丁目の道上にて一疋の犬を捕へしに飼主さの口論の結果犬なりき！實際したるに果して鑑札有りしに袋叩にしたが……さて地獄の犬は大傍人不正なる犬殺しを『なぐれ』この一喜びでしよう(甘歿者)▲某所の守衛さん妻君、金儲けに出すのは好けれど外人やら朝鮮人に身體を委せての金儲けするのは止めて欲しい ものですネ…女工の顏汚しになります主人も承知なれば女工をやめさせて看板出してはどうです女 御汚しではありません、か、(女工の一人)▲私は六十八圓さ九圓勸業債券一月の當籤番號が分りません御存じの方は教へて下さい(債券女)▲何處かで官報を借りて御覽なさい(係)

大阪期米特電
神戸期米特電
十二日 前場 後場 高値 [illegible] 安値 三九、〇一 三八、八〇 止め 三八、八〇 三八、六二 三八、六〇
[illegible]七十五錢こ押し八十錢引先限八十錢三錢八十錢三錢二錢三錢五錢六錢七錢六錢
五圓八十二錢こ三十一錢高に寄付 錢三錢二錢一錢八十錢一錢三錢八 八錢七錢[illegible]九錢八錢
五錢こ捉ね八十錢こ[illegible] [illegible]
十二日米穀取引所 [illegible]
平均値段 一番 二番 三番 四番 三十五圓八十二錢 三十五圓八十七錢 三十五圓八十四錢 三十五圓八十七錢

◎露國救濟辯明

米國露國部支出

[illegible]の設立せられ即ち彼等の[illegible]する衣服其他の必要品を[illegible]この交換を周旋する目的[illegible]の設立せられたるにあらずこ[illegible]

日本國民の强敵

最近の統計年鑑の示す處によれば吾が國で年々胃腸病の爲に斃れるものが實に十六万人からある。今是を一ケ年間諸種の病氣で死ぬ人百十万人に比例して見たならば實に死亡者六人八分の内の一人は胃腸病患者であるのである、日本は昔より肺病國こ云はれて居るが同時に胃腸病國である胃腸病は吾が國民に取り最も怖るべき强敵である

胃腸强健法十二則

其一、食事は三度を三十分位に食べる事に良く咀嚼すれば消化が正確になる

其二、朝食七時、晝食十二時半、夕食六時半位に定め置くが宜しい一回の食事を消化するに約五時間を要するからである。

其三、食物の分量は其人の體質、年齡、職業等に依るべきもので、自分の嗜好や經濟に應じて食品を選ぶことも必要である。

其四、食事は愉快に笑の間にぞ可きもので怒を空へたり、…………上なすは宜しい。

其五、間食は胃に良くない。

其六、體質により食事に一度に六ないが、食慾の進む時は充分摂るが宜しい。併し成るべく淡泊な食品が宜しい。

其七、食後の睡眠は人々の習慣ごとにも依りて違ふが、普通食後三時間位は避けねばならぬ。

其八、入浴も食後三時間位經過した方が宜しい少なくとも食後一時間又は一時間半位休憩した方がよい。

其九、食物の溫度も消化の進歩に影響があるから過熱過冷の飲食物をさけ、體の溫度を標準として攝取するが適當である。

其十、煙草と胃の消化とは大なる關係があつて少量ならば消化を進捗させるが空腹時に於ける喫煙は良くないから食事後直ぐに用ふべきである。酒も同樣な關係がある。

其十一、睡眠不足は翌日に至つて胃腸の消化に障碍を起し易い十分に睡眠して胃腸の休養を十分ならしむる必要がある殊に營養不良の人に於て一層睡眠を要する。

其十二、毎日正規の排便を爲すに力めねばならぬ若し便秘の傾きがあれば緩和の下劑を用ゐ又は灌腸する必要がある。

胃腸障害の徵候

胃の部＝嘔氣または嘔吐を催す。＝胸灼けを感じ、胸部が刺さるゝ如く痛む。＝食慾減じ、食物の美味の感じを失ふ。＝胸むかつき、頭痛眩暈を覺ゆる。＝胸痞へて酸味ある嘔吐を覺ゆ。＝舌が白く變色し、又は唾液の分泌が多量くなる。

腸の部＝腹部に膨滿を覺え、便秘を起す。＝官覺鈍りて頭腦鬱々とする。＝下腹部に疼痛を感じ、腹鳴を起す。＝舌の下面部黃色くなり、頻りに渴を覺ゆる。＝腹部に壓迫を覺え呼吸困難となる。＝顏面蒼白くなる。＝腹部に瓦斯が溜滯りて屢々放屁を爲す。

以上の如き病の諸徵候に對しホシ胃腸藥は最も的確なる効能を顯し之を原因的に治癒せしめ又常に持藥として用ふる時は頑健なる胃腸を誇り得るに至るべし

ホシ胃腸藥

資本金五百萬圓

星製藥株式會社

東京京橋南傳馬町

振替東京二〇五二二 電話京橋一一〇七

冬の風引には
大學病院模範方劑
調劑確實有効保證
KAZEPIRIN
カゼピリン
解熱 全劑 東京
本舖 東京 淺野榮天堂藥局

朝鮮無敵の特約店にて販賣す

花柳病外科專門
梅毒・淋病・泌尿生殖器病・睾丸病・痔・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー
606
京城南大門通壓工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

三休病 百圓進呈 北詰角 大阪 有田ドラッグ商會

りん病 ばいん毒 合藥 [illegible]

帝國醫科大學病院 [illegible]

吉日 百圓進呈 [illegible]

にせ物 大阪有田 [illegible]
京城南大門外 有田ドラッグ商會滿鮮本部

◎朝鮮のにせ物
京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる樣御注意をこふ

京城龍山等各地に僞物有り御注意

大阪東區心齋橋筋本町 有田ドラッグ商會